Pioneer sound.vision.soul

DVD プレーヤー

DV-S757A

このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、お客様に快適に楽しんでいただける様、過去弊社の DVD プレーヤーをお買い求めいただいたお客様の声を「Q&A」として随所に盛り込んでおります。
どうぞご一読ください。

DVDを見る
各部のなまえ
DVD の再生
いろいろなディスクの再生
音場設定
画質調整
接続
セットアップナビゲーター
初期設定
基礎知識
付録

お客様登録のご案内

http://www3.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての**「お客様登録」**をお願いいたします。ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報などのご案内をさせていただきます。
また、ご登録いただきますとIDが発行され、お役に立つ情報満載のお客様専用ページにアクセスすることができます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意（絵表示について）

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告[異常時の処理]

プラグを抜く

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

もくじ

さっそくDVDを見ましょう！... 6

ポイント ①: すぐに使いたい！
「何から始めたら良いかわからない！」、「とりあえず早くDVDを見たい！」というときご覧ください。

ポイント ②: 困った!
項目ごとにQ＆Aがあります。「なぜ？」「どうして？」というとき参考にしてください。

各部のなまえとはたらき

DVDにはこんな再生のしかたもあります

いろいろなディスクを再生しましょう

音場の設定をしましょう

画質を調整しましょう

こんな接続のしかたもあります

セットアップナビゲーターで設定しましょう

デジタル音声出力の設定を変更したいとき

さっそくDVDを見ましょう！

1 付属品の確認をしましょう

リモコン

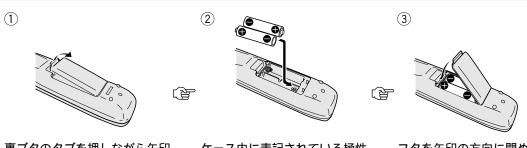
音声ケーブル

映像ケーブル

電源コード

単3形乾電池（R6P・2本）

- **保証書**
- **安全上のご注意**
- **取扱説明書(本書)**

2 リモコンに電池を入れましょう

① **裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開く。**

② **ケース内に表記されている極性⊕(プラス)/⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れる。**

③ **フタを矢印の方向に閉める。**

注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1ヵ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

3 テレビに接続しましょう

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

壁の電源コンセントへ
(AC 100V, 50/60Hz)

本機

テレビ

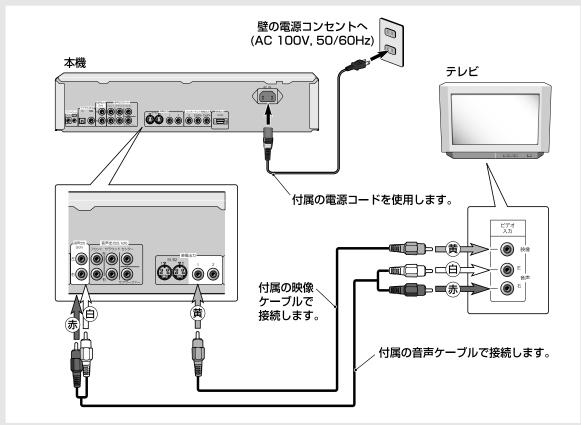
付属の電源コードを使用します。

ビデオ入力
映像
左
音声
右

黄
白
赤

付属の映像ケーブルで接続します。

付属の音声ケーブルで接続します。

音声出力(2ch)
音声出力(5.1ch)
フロント サラウンド センター
左
右
サブウーファー
映像出力
S1/S2

注意

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。

本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

Q&A

Q1: 5.1チャンネルサラウンドを楽しみたい！どんな接続をしたらいいですか？

→ **P.45-46** をご覧ください。

Q2: S映像端子に接続できますか？

→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.48** をご覧ください。

Q3: コンポーネント映像端子に接続できますか？

→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.48** をご覧ください。

Q4: D映像端子に接続できますか？

→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.48** をご覧ください。

Q5: モノラル音声入力端子に接続できますか？

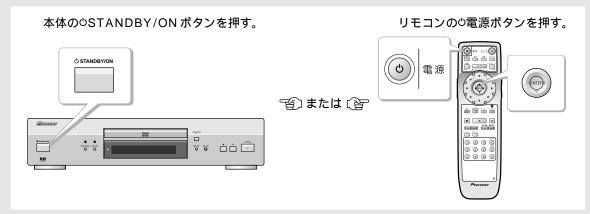
→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.47** をご覧ください。

4 テレビの電源を入れましょう

テレビのリモコン、またはテレビ本体の電源ボタンで電源を入れます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

5 テレビの入力を切り換えましょう

テレビのリモコン、またはテレビ本体の入力切換ボタンで切り換えます。例えば、本機をテレビのビデオ入力 2 端子に接続したときはビデオ入力 2 を選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

6 電源を入れましょう

テレビ画面に下記のように表示されれば映像の接続はOK!

① **まず[Pioneer]が表示されます。**

⬇

② **次に下記の画面が表示されます。**

③ **リモコンの ENTER ボタンを押して 7 に進みます。**

Q&A

Q1: 電源が入らない！

→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？(**P.7**)

Q2: 映像が映らない！

→ 映像ケーブルが正しく接続されていますか？(**P.7**)

→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

Q3: リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約7m の範囲で操作することができます。

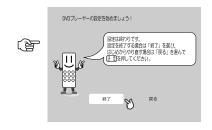
→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください(**P.15**)。

→ 本機を蛍光灯の近くに設置していませんか？蛍光灯から離れた場所に設置してください。

7 テレビの種類を選びましょう

お使いのテレビが[ワイドテレビ(16:9)]か[普通のテレビ(4:3)]かを選択します。

リモコンのジョイスティックを左右に操作して選択。ENTER ボタンで次の画面へ。

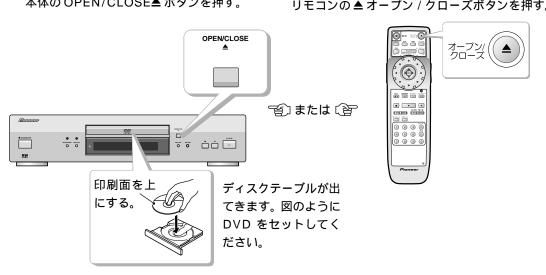
リモコンのジョイスティックを左右に操作して選択。ENTER ボタンで設定[終了]、または最初の画面に[戻る]。

メモ

- [***DVD プレーヤーの設定を始めましょう！***]の画面は、一度設定すると次に電源を入れたときは表示されません。
- [***DVD プレーヤーの設定を始めましょう！***]の画面終了後、テレビの種類を変更したいときは、初期設定の[**テレビ画面**](**P.54**)で設定してください。

8 DVD をセットしましょう

本体の OPEN/CLOSE▲ ボタンを押す。

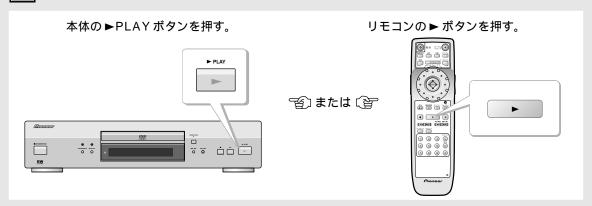
リモコンの ▲ オープン / クローズボタンを押す。

ディスクテーブルが出てきます。図のようにDVD をセットしてください。

DVD をセットしたら、本体の**OPEN/CLOSE ▲ボタン**(またはリモコンの▲**オープン / クローズボタン**)を押して、ディスクテーブルを閉めます。

メモ

- ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始める DVD もあります。
- 本体の ▲ **ボタン**を押して電源を入れることもできます。このとき、ディスクテーブルが出てきます。

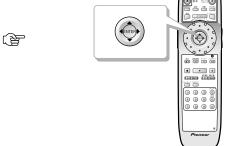
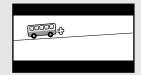
9 それではDVDを再生しましょう！

本体の►PLAYボタンを押す。　**リモコンの►ボタンを押す。**

DVDのメニュー画面が表示されたら･･･

再生を始めると最初にメニュー画面を表示するDVDがあります(メニュー画面の内容や操作方法はDVDによって異なります)。

こんな画面が表示されたら･･･。

リモコンのジョイスティックを上下左右に操作して選択。ENTERボタンで決定。
(リモコンの数字ボタンで番号を選択して再生することもできます。)

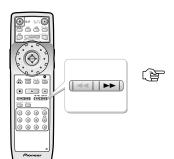
メモ

下記のように画面の上下に黒い帯がつくDVDがあります。本機の故障ではありません。

Q&A

Q1: ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう！
Q2: 再生できない！

→ DVDがディスクテーブルに正しくセットされていますか？
→ DVDが汚れていませんか？DVDをクリーニングしてください。
→ DVDの表裏が正しくセットされていますか？
→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は**「2」**と**「ALL」**のみです(**P.72, 76**)。
→ 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください(**P.74**)

。

10 ちょっと場面を進めたいときは早送りしましょう

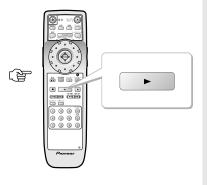
リモコンの ►► ボタンを押す（または本体の ►► ►►| ボタンを押し続ける）。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ►►] とテレビ画面に表示されます。

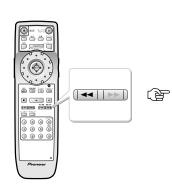
⬇

2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ►►] とテレビ画面に表示されます。

⬇

3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ►►] とテレビ画面に表示されます。
（本体の ►► ►►| ボタンで操作したときはスキャン 1 のみとなります。）

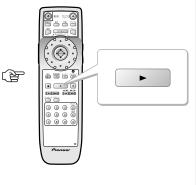
見たい場面まで進めたら ► ボタンを押す（本体の ►► ►►| ボタンのときは指を離す）。

11 ちょっと場面を戻したいときは早戻ししましょう

リモコンの ◄◄ ボタンを押す（または本体の |◄◄ ◄◄ ボタンを押し続ける）。

☞

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ◄◄] とテレビ画面に表示されます。

2 回押すと･･･もっと速い
「スキャン 2 ◄◄」 とテレビ画面に表示されます。

3 回押すと･･･さらに速い
「スキャン 3 ◄◄」 とテレビ画面に表示されます。
（本体の |◄◄ ◄◄ ボタンで操作したときはスキャン 1 のみとなります。）

見たい場面まで戻したら ► ボタンを押す（本体の ►► ►►| ボタンのときは指を離す）。

メモ

DVD オーディオでは、早送り / 早戻しの速さが 2 段階（**「スキャン 2 ◄◄」** → **「スキャン 3 ◄◄」**）になります。

12 ちょっと休憩というときは一時停止しましょう

リモコンまたは本体の II ボタンを押す。

通常の再生に戻すときは ►、またはIIボタンを押す。

13 字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしましょう

ここでは英語と日本語が収録されている DVD-Video を例に説明します(ディスクによって収録されている言語数が異なります)。リモコンで音声や字幕を切り換えられないディスクもあります。このようなときはディスクメニューで切り換えることができます(**P.10**)。

音声を切り換えましょう

ここでは英語で聞こえる台詞を日本語にしましょう(もちろん複数の言語が収録されている DVD-Video では他の言語を選ぶこともできます)。

音声が二重(二カ国語)で記録されている DVD-R/RW では、**主**、**副**、**主 / 副音声**を切り換えることができます。

複数の音声が収録されている DVD-Audio では、音声の種類を切り換えることができます。

DVD を再生しているときにリモコンの音声ボタンを押す。

押すたびに下記のように切り換わります。

例 DVD-Video の音声切換画面

※ 3 / 2 . 1 C H はディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは **P.77** をご覧ください。

字幕を切り換えましょう

音声の切り換えで台詞を日本語にしたので字幕はオフを選びます(もちろん複数の言語が収録されている DVD-Video では他の言語を選ぶこともできます)。

DVDビデオを再生しているときにリモコンの字幕ボタンを押す。

押すたびに下記のように切り換わります。

例 DVD-Video の字幕切換画面

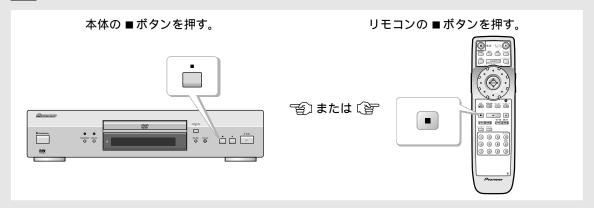
※ 字幕が収録されていないときは[––]が表示されます。

メモ

- ここで切り換えた音声 / 字幕は、「リジューム機能(**P.14**)を解除したとき」、または「DVD を取り出したとき(**P.14**)」初期設定(**P.56**)に戻ります。
- 音声/字幕の切換画面表示中にジョイスティックを下に操作すると、再生中のディスクに収録されている音声/字幕の言語を一覧で表示することができます。一覧表示中にジョイスティックを上下に操作して言語を選択して、**ENTERボタン**を押しても音声/字幕の言語を切り換えることができます(切り換えられないディスクもあります)。
- 再生中に音声を切り換えると一瞬静止画になるディスクがあります。

例 音声の一覧表示

それでは思う存分 DVD の世界を楽しんでください！

14 DVDを停止しましょう

■**ボタン**を 1 回押すと表示窓に･･･

STOP	➡	RESUME

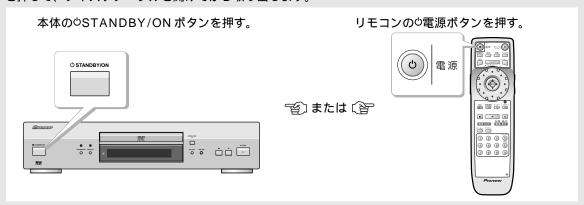
･･･と表示され､停止した場所を記憶します(リジューム機能)。次に再生したときは停止した場所から再生します。DVDを取り出すとリジューム機能は解除されます。

停止中に■**ボタン**をもう一回押すと表示窓に･･･

DVD

･･･と表示され、リジューム機能が解除されます。次に再生したときはDVDの最初から再生します。

15 電源を切りましょう

電源を切る前にDVDを取り出しましょう。リモコンの▲**オープン/クローズボタン**(または本体の▲**ボタン**)を押して、ディスクテーブルを開けてから取り出します。

リモコンの⏻**電源(本体の⏻STANDBY/ON)ボタン**を押すと表示窓に･･･

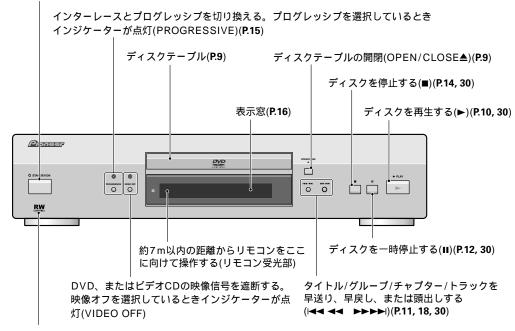
-OFF-

･･･と表示されます。

メモ

電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の**[-OFF-]**表示が消えていることを確認してください。**[-OFF-]**表示中に抜くと本機の設定が工場出荷時状態に戻ることがあります。

各部のなまえとはたらき

本体前面

映像の出力方式を切り換えるには･･･

本機とコンポーネント/D端子映像ケーブルで接続したテレビがプログレッシブ入力対応テレビのとき、映像の出力方式(プログレッシブ、またはインターレース)を本体前面の**PROGRESSIVEボタン**で切り換えることができます。

きめ細かな映像が得られる高画質モードです。プログレッシブ入力に対応しているテレビ、またはプロジェクターと接続しているときに選択します。表示窓の**[PRGSVE]**が点灯します(**P.16**)。

インターレース(出荷時の設定)

プログレッシブ入力に対応していないテレビ、またはプロジェクターと接続しているときに選択します。表示窓の**[PRGSVE]**が消灯します(**P.16**)。

本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

現在一部のプログレッシブ対応テレビは当プレーヤーと完全な互換が取れていない為、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は当プレーヤーの出力をインターレースに切り換えてください。また当社のプログレッシブ対応テレビと当プレーヤーとの互換性についてご質問のある場合は当社のカスタマーサポートセンター(P.88)へお問い合わせください。

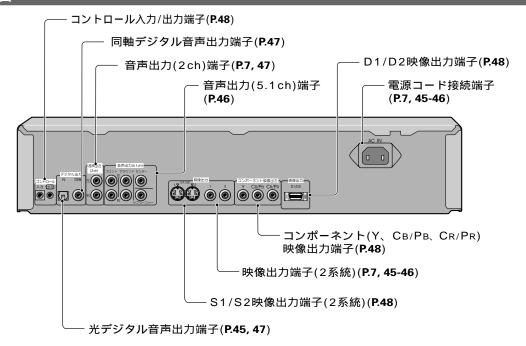
※当プレーヤーと互換が取れている当社のプログレッシブ対応テレビ(プラズマディスプレイ)

PDP-503PRO　PDP-503HD
PDP433HD-U　PDP-433HD-S

メモ

- コンポーネント/D端子映像ケーブルでプログレッシブ入力に対応していないテレビと接続しているときにプログレッシブを選択すると映像が出力されません。再度本体前面の **PROGRESSIVE ボタン**で**[インターレース]**を選択してください。
- プログレッシブとインターレースを切り換えるとき映像が乱れることがあります。

各部のなまえとはたらき

本体背面

表示窓

DVDビデオ、またはDVDオーディオ再生中、映像信号のある場面で点灯

映像出力でプログレッシブ方式が選択されているとき点灯(**P.15**)

アングルを変更できる場面で点灯(DVDビデオのみ)(**P.28**)

グループ番号が表示されているとき点灯

タイトル番号が表示されているとき点灯

DDV/TruSurroundが働いているとき点灯(**P.41**)

トラック番号が表示されているとき点灯

チャプター番号が表示されているとき点灯

タイトル/グループ/チャプター/トラックの残り時間が表示されているとき点灯

PRGSVE V-PART 5.1CH DTS DD D GUI GRP TITLE TRK CHP REMAIN

いろいろな情報を表示する

初期設定画面、設定画面、ディスク情報などを表示しているとき点灯

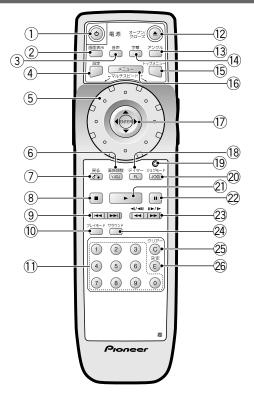
ディスクを一時停止しているとき点灯

ディスクを再生しているとき点灯

ドルビーデジタル音声を選択して再生しているとき点灯

DTS音声を選択して再生しているとき点灯

[音声出力モード]の設定で**[5.1チャンネル]**を選択しているときに点灯(**P.65**)

リモコン

① ⏻**電源** — 電源を入れる/切る**(P.8, 14)**。

② **画面表示** — ディスク情報を表示する**(P.29, 39)**。

③ **音声** — DVDビデオの音声言語、2重音声で記録されているDVD-RW、またはDVDオーディオ/ビデオCD/CD/MP3の音声を切り換える**(P.12, 37)**。

④ **設定** — 設定画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする。

⑤ **マルチダイヤル** — スロー再生、スキャン、コマ送り再生などの特殊再生をする**(P.19-20)**。

⑥ **画質調整(V.ADJ)** — 画質調整画面を表示する**(P.43-44)**。

⑦ **戻る** — 初期設定画面や設定画面が表示されているとき押すと1つ前の項目に戻る。

⑧ ■ — ディスクを停止する**(P.14, 30)**。

⑨ **⏮/⏭** — 現在再生中のチャプター/トラックの始めに戻る。または、次のチャプター/トラックの始めに送る**(P.11, 18, 30)**。

⑩ **プレイモード** — プレイモード画面を表示する**(P.22, 32)**。

⑪ **数字** — 見たい/聞きたいタイトル/グループ/チャプター/トラックを指定して再生したいとき、またはメニュー画面で項目を選択するときなどに使う。**数字ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押す、または2秒以上待つ**(P.10, 18, 30)**。

⑫ **▲ オープン/クローズ** — ディスクテーブルを開閉する**(P.9)**。

⑬ **アングル** — DVDビデオのアングルを切り換える**(P.28)**。

⑭ **字幕** — DVDビデオの字幕言語を切り換える**(P.13)**。

⑮ **トップメニュー** — DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示する。

⑯ **メニュー** — DVDソフトのメニュー画面を表示する。DVD-RW/SACD/MP3/ビデオCD/CDではディスクナビゲーター画面を表示する**(P.10,27,37)**。

⑰ **ジョイスティック/ENTER** — 設定項目を選択するときカーソルを上下左右に動かす。押すと選択した項目を決定する。

⑱ **ディマー(FL)** — 本体表示窓の明るさを通常の点灯から3段階に切り換える。

⑲ **ジョグモードインジケーター** — マルチダイヤルの機能がコマ送りになっているとき点灯する**(P.19-20)**。

⑳ **ジョグモード(JOG)** — マルチダイヤルの機能をスロー/スキャンからコマ送りに切り換える**(P.19-20)**。

㉑ ▶ — ディスクを再生する**(P.10, 30)**。

㉒ ❚❚ — 再生中に押すと、映像/音声が一時停止する。もう一度押すと通常の再生に戻る**(P.12, 30)**。

㉓ **◀❙/◀❙❙/◀◀、▶▶/❙❙▶/❙▶** — 再生中、映像や音声の早送り/早戻しをする。一時停止中に押すとコマ送り/コマ戻し再生、押し続けるとスロー再生をする**(P.21, 39)**。

㉔ **サラウンド** — バーチャルサラウンド(立体音場)機能をオン/オフする**(P.41)**。

㉕ **クリア(C)** — リピート、ランダム、またはプログラム再生などで設定した内容を取り消す。

㉖ **決定(E)** — 設定/選択した項目を実行する。

DVDにはこんな再生のしかたもあります

タイトル / チャプターを指定して再生しましょう(ダイレクトサーチ)

DVD-Audio では、グループ / トラックを指定して再生します。

タイトル / グループを指定して再生するには・・・

停止中に数字(0 ～ 9)ボタンでタイトル / グループ番号を入力して、決定する。

- 番号入力後、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- タイトル / グループを指定して再生できないディスクもあります。

DVD ビデオのタイトル 3 を再生するには、**3** を押して**決定**します。

チャプター / トラックを指定して再生するには・・・

再生中に数字(0～9)ボタンでチャプター/トラック番号を入力して、決定する。

- 番号入力後、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- 現在再生中のタイトル / グループ内のチャプター / トラックのみ指定することができます。

DVD ビデオのチャプター 12 を再生するには、**1, 2** を押して**決定**します。

番号を間違えたときは・・・

クリアボタンを押す

頭出しをしましょう(スキップ)

DVD-Audio では、トラックをスキップします。押した回数だけチャプター / トラックがスキップします。

見たい / 聞きたいチャプター / トラックに進むには・・・

再生中に ►►I ボタンを押す。

次のチャプター / トラックに進みます。

見たい / 聞きたいチャプター / トラックに戻るには・・・

再生中に I◄◄ ボタンを押す。

再生中のチャプター / トラックの先頭に戻ります。2 回押すと 1 つ前のチャプター / トラックに戻ります。

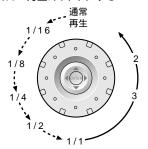
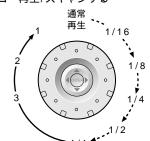
マルチダイヤルを使ってスロー再生/スキャンをしましょう

DVD-Audio では、スロー再生ができません。

マルチダイヤルをゆっくり回すと・・・

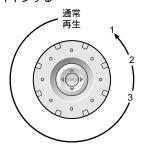
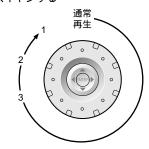
スロー/スキャンの速度が
[スロー 1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2 → 1/1 →スキャン 1 → 2 → 3]
のように切り換わります。

マルチダイヤルを左に回すと逆方向にスロー再生/スキャンする

マルチダイヤルを右に回すと前方向にスロー再生/スキャンする

マルチダイヤルをすばやく回すと・・・

スキャンの速度が**[スキャン 1 → 2 → 3]**のように切り換わります。

マルチダイヤルを左に回すと逆方向にスキャンする

マルチダイヤルを右に回すと前方向にスキャンする

メモ

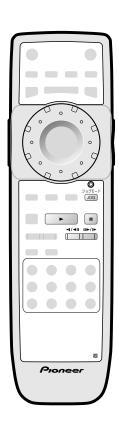
スキャンの速度の切り換えはディスクによって異なります。

- 3 段階 = DVD ビデオ /DVD-RW(1→ 2 → 3)
- 2 段階 = DVDオーディオ(2 → 3)、SACD/ビデオCD/CD(1→ 2)
- 1 段階 = MP3

スロー/スキャンの方向をすばやく変えるには・・・

① **スロー/スキャン中に II ボタンを押す。**
② **マルチダイヤルを現在再生している方向の逆に回す。**

通常の再生に戻すには・・・

スロー再生、またはスキャン中にマルチダイヤルを現在再生している方向の逆へすばやく回す(または ► **ボタン**を押す)。

マルチダイヤルを使ってコマ送り再生をしましょう

DVD-Audio では、コマ送り再生ができません。

1. **ジョグモードボタンを押す**
ジョグモードインジケーターが点灯します。

2. **マルチダイヤルを回す**
- 右に回すとコマ送り、左に回すとコマ戻しをします。
- 回す速度に合わせて再生の速度が切り換わります。
- 回すのを止めると一時停止になります。

通常の再生に戻すには・・・

►ボタンを押す。

コマ送り再生を解除するには・・・

ジョグモードボタンを押す。
ジョグモードインジケーターが消えます。

メモ

- タイトルによってスロー / コマ送り再生ができないディスクがあります。
- チャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうディスクがあります。
- 逆方向のスロー/コマ送り再生では､通常の再生より画質が落ちることがあります。
- 逆方向のスロー再生がスムーズにできないディスクがあります。
- 逆方向のスロー再生 / スキャン中は字幕が表示されません。

スロー再生をしましょう

DVD-Audio では、スロー再生ができません。

1. 再生中に ❚❚ ボタンを押す
一時停止になります。

2. ❚❚▶/❚▶ ボタンを押し続ける
[スロー 1/16 ❚▶]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

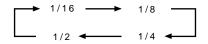
逆方向にスロー再生するには･･･

一時停止中に ◀❚/◀❚❚ ボタンを押し続ける。

通常の再生に戻すには･･･

▶ ボタンを押す。

スロー再生の速さを変えるには･･･

スロー再生中に◀❚/◀❚❚、または❚❚▶/❚▶ ボタンを押す
押すたびに下記のように速さが変わります。

メモ

- スロー再生中は音声が出力されません。
- スロー再生できないディスクもあります。
- 一時停止中の映像にブレがあるときは、初期設定の[**ポーズモード**]を[**フィールド**]に切り換えてください(**P.55**)。
- 『*マルチダイヤルを使ってスロー再生 / スキャンしましょう*』も合わせてご覧ください(**P.19**)。

コマ送り再生をしましょう

DVD-Audio では、コマ送り再生ができません。

1. 再生中に ❚❚ ボタンを押す
一時停止になります。

2. ❚❚▶/❚▶ ボタンを押す
押すたびにコマ送りします。

逆方向にコマ送り再生するには･･･

一時停止中に ◀❚/◀❚❚ ボタンを押す。
押すたびに逆方向へコマ送りします。

通常の再生に戻すには･･･

▶ ボタンを押す。

メモ

- コマ送り再生中は音声が出力されません。
- コマ送り再生できないディスクもあります。
- 逆方向のコマ送り再生中、映像が揺れることがあります。
- 再生方向を変更したとき、映像が一瞬動くことがあります。
- 一時停止中の映像にブレがあるときは、初期設定の[**ポーズモード**]を[**フィールド**]に切り換えてください(**P.55**)。
- DVDオーディオには静止画が収録されているディスクがあります(**P.76**)。静止画の種類によっては、コマ送り再生のように静止画を進めたり戻したりすることができます。
- 『*マルチダイヤルを使ってコマ送り再生しましょう*』も合わせてご覧ください(**P.20**)。

よく使うボタン

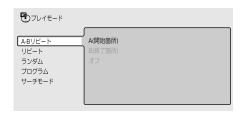
	プレイモード画面を表示する。
	上下左右に操作して項目を選択 / 変更する。または、カーソルの位置を移動する。押すと項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。
	設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

プレイモード画面を表示させましょう

1. プレイモードボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

- ディスクメニューを表示中はプレイモード画面を表示することができません。
- 設定画面からもプレイモードを選択することができます(**設定ボタン**を押して設定画面を表示します)。

2. 項目を選択する

DVD-Audio では、グループやトラックを再生します。

■ **A-B リピート(P.23)**
再生中のタイトル/グループ内の指定した範囲を繰り返し再生します。

■ **リピート(P.23)**
タイトル / グループやチャプター / トラックを繰り返し再生します。

■ **ランダム(P.24)**
タイトル / グループやチャプター / トラックを順不同に再生します。

■ **プログラム(P.24-25)**
タイトル / グループやチャプター / トラックの順番を変えて再生します。

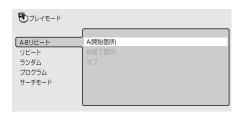
■ **サーチモード(P.26)**
タイトル / グループ、チャプター / トラック、または時間を指定して再生します。

3. カーソルを右へ移動する

メモ

プレイモード画面、または初期設定画面の下の部分に選択している項目の簡単な説明が表示されます(オンスクリーンインフォメーション)。操作の参考にしてください。

指定した箇所を繰り返し再生しましょう(A-B リピート再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(P.22)をご覧になり、**[A-B リピート]**を選択してください。

1. 再生中にA-Bリピートを開始したい箇所で[A(開始箇所)]を選択して、決定する

2. A-Bリピートを終了したい箇所で[B(終了箇所)]を選択して、決定する

- A-B リピート再生を開始します。
- 本体表示窓に**[R_A B]**と表示されます。

通常の再生に戻すには･･･

[オフ]を選択して、決定する

メモ

- A-Bリピート再生中に**クリアボタン**を押して、通常の再生に戻すこともできます。
- DVD-R/RWでは、異なるタイトルをまたいでA-Bリピート再生することができません。

繰り返し再生しましょう(リピート再生)

- まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(P.22)をご覧になり、**[リピート]**を選択してください。
- **DVD-Audio では、グループ/トラックをリピート再生します**

再生中にリピート再生の種類を選択して、決定する
リピート再生を開始します。

例 DVD-Video のリピート画面

■ **タイトル / グループリピート**
- 現在再生中のタイトル / グループを繰り返し再生します。
- 本体表示窓に**[R_TTL]**/**[R_GRP]**と表示されます。

■ **チャプター / トラックリピート**
- 現在再生中のチャプター / トラックを繰り返し再生します。
- 本体表示窓に**[R_CHP]**/**[R_TRK]**と表示されます。

■ **リピートオフ**
通常の再生に戻ります。

メモ

- リピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。
- リピート再生できないディスクがあります。
- リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。

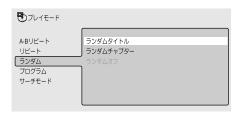
DVDにはこんな再生のしかたもあります

順不同に再生しましょう(ランダム再生)

- まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.22)**をご覧になり、**[ランダム]**を選択してください。
- **DVD-Audio では、グループ/トラックをランダム再生します。**

ランダム再生の種類を選択して、決定する

- ランダム再生を開始します。本体表示窓に[**RDM**]と表示されます。

例 DVD-Video のランダム画面

- **ランダムタイトル / グループ**
  タイトル / グループを順不同に再生します。
- **ランダムチャプター / トラック**
  現在再生中のタイトル/グループ内のチャプター/トラックを順不同に再生します。
- **ランダムオフ**
  通常の再生に戻ります。

メモ

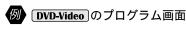
- ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。
- 停止中にランダム再生を解除するには、**■ボタン**を押します。
- DVD-R/RW ではランダム再生ができません。
- ランダム再生できないディスクがあります。
- ランダム再生とリピート再生、またはプログラム再生を同時に行うことはできません。
- ランダム再生中に▶▶|を押すと、順不同に次のチャプターを選択して再生します。また、|◀◀を押すと、現在再生中のチャプターの始めに戻り再生します。このとき、現在再生中のチャプターより前のチャプターに戻ることはできません。

順番を変えて再生しましょう(プログラム再生)

- まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.22)**をご覧になり、**[プログラム]**を選択してください。
- 24ステップまでプログラムすることができます。
- **DVD-Audio では、グループ / トラックを選択します。**

1. [プログラム入力・編集]を選択して、決定する

2. プログラムしたいタイトル / グループ、またはチャプター / トラックを選択して、決定する

例 DVD-Video のプログラム画面

- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

3. 2を繰り返して他のタイトル/グループ、またはチャプター / トラックをプログラムする

ステップの間にプログラムを追加するには･･･

例 プログラムステップ 02 の前にタイトル 1 のチャプター 7 を追加する

① **カーソルをプログラムステップ 02 に合わせる**
② **タイトル1のチャプター7を選択して、決定する**
プログラムステップ 02 にタイトル 1 のチャプター 7 が追加されます。 もともとプログラムステップ02にあったプログラムは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには･･･

例 **プログラムステップ02のプログラムを削除する**

① **カーソルをプログラムステップ02に合わせる**

② **クリアボタンを押す**

プログラムステップ02のプログラムが削除され、その後ろにあったプログラムが1つ前に繰り上がります。

4. ► ボタンを押す

プログラムした順に再生を開始します。本体表示窓に[**PGM**]と表示されます。

メモ

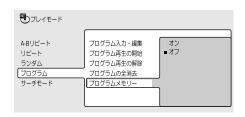
- DVD-R/RWでは、プログラム再生ができません。
- タイトル/チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル/チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の[**リピート**]から[**プログラムリピート**]を選択します(**P.23**)。
- プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。
- プログラム再生中に►►|を押すと、次のプログラムステップのタイトル/グループ、またはチャプター/トラックを再生します。

プログラム再生を開始/解除/全消去するには･･･

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

プログラムした内容を記憶するには･･･(プログラムメモリー)

ディスクを取り出してもプログラムした内容を記憶しておくことができます。プログラムメモリーしたディスクを再生すると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。最大24枚まで記憶させることができます。24枚を超えると、古い記憶から消去されます。プログラムメモリーは**DVD-Video**をプログラムしたときのみ選択することができます。

① **[プログラムメモリー]を選択して、カーソルを 右へ移動する。**

② **[オン]を選択して、決定する。**

プログラムメモリーを解除するときは[**オフ**]を選択して、決定します。

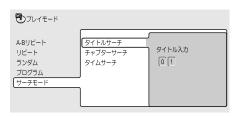
メモ

- 本体の表示窓に[**GUI**]が表示されているときは、リモコンの**クリアボタン**でプログラム再生を解除/全消去することができません。表示中のプレイモード画面、設定画面、または初期設定画面などをオフにしてから操作してください。
- この機能を使うと、(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクFDiscをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のタイトル/チャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

見たい場面を探しましょう(サーチモード)

- まずは『**プレイモード画面を表示させましょう**』(P.22)をご覧になり、**[サーチモード]**を選択してください。
- **DVD-Audio では、グループサーチ / トラックサーチを選択します。**

1. 再生中にサーチモードの種類を選択して、決定する

例 **DVD-Video のサーチモード画面**

■ **タイトル / グループサーチ**
タイトル / グループを指定して再生します。

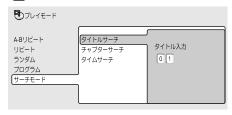
■ **チャプター / トラックサーチ**
チャプターを指定して再生します。

■ **タイムサーチ(DVD-Audio は除く)**
時間を指定して再生します。

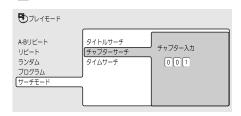
2. 数字(0〜9)ボタンで再生したいタイトル、チャプター、または時間を入力して、決定する

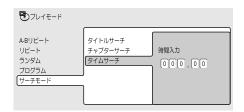
指定したタイトル / グループ、チャプター / トラック、または時間から再生を開始します。

タイトル / グループサーチを選択したとき・・・

例 **DVD-Video のタイトルサーチ画面**

DVDビデオのタイトル3を再生するには、**3**を押して**決定**します。

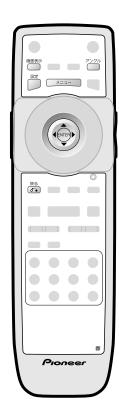
チャプター / トラックサーチを選択したとき・・・

例 **DVD-Video のチャプターサーチ画面**

DVDビデオのチャプター12を再生するには、**1, 2**を押して**決定**します。

タイムサーチを選択したとき・・・

- 21分43秒を再生するには、**2, 1, 4, 3**を押して**決定**します。
- 1時間4分(64分00秒)を再生するには、**6, 4, 0, 0**を押して**決定**します。

メモ

- ディスクメニューで見たい場面を探す(サーチ)ことができるディスクがあります。このときは、リモコンの**メニューボタン**でディスクメニューを表示させてサーチしてください。
- サーチ機能を禁止しているディスクがあります。
- タイムサーチでは、指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- 停止中にタイムサーチはできません。
- DVDオーディオではタイムサーチはできません。
- DVDオーディオには、静止画が収録されているディスクがあります(**P.76**)。静止画の種類によって、静止画の番号(ページ)を指定してサーチすることができます。

ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

1. 設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

DVD-R/RW では、リモコンの**メニューボタン**でディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。

2. [ディスクナビゲーター]を選択して、決定する

3. カーソルをタイトル / グループ、またはチャプター / トラックに移動する

 DVD-Video のディスクナビゲーター画面

例 DVD-R/RW のディスクナビゲーター画面

プレイリストを設定しているときは、**[オリジナル]**、または**[プレイリスト]**を選択して再生することができます。

- プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に**[プレイリスト]**は表示されません。
- 再生中に**[オリジナル]**と**[プレイリスト]**を切り換えることはできません。ディスクを停止してから切り換えてください。

よく使うボタン

上下左右に操作して項目を選択 / 変更する。または、カーソルの位置を移動する。押すと項目を決定する。

一つ前の画面に戻る。

設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

DVD にはこんな再生のしかたもあります

映像を確認してから再生するには(プレビュー)…

停止中に確認したいタイトルを選択して、ジョイスティック右へ操作する。
タイトルの先頭の画像を表示します。

4. 再生したいタイトル/チャプターを選択して、決定する
選択したタイトル/チャプターから再生を開始します。

メモ

- **オリジナルとは**
  DVD レコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」といいます。
- **プレイリストとは**
  オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。

DVD ビデオの映像のアングルを切り換えましょう（マルチアングル）

複数のアングルが収録されている DVD-Video では、再生中にアングルを切り換えることができます。詳しくは **P.72, 76** をご覧ください。

アングルボタンを押す
現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すたびにアングルが切り換わります。

例

アングル　現在/総数
2/4

メモ

- 複数のアングルが収録されている場面になると、マークが画面に表示されます。
- マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
- ディスクメニューでアングルを切り換えることができるディスクもあります(**P.10**)。
- マークを表示させたくないときは、初期設定の **[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします(**P.59**)。

ディスクの情報を見ましょう

DVD-Audio ではグループ/トラックの情報が表示されます。

再生中に画面表示ボタンを押す

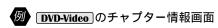
- 画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。
- ディスクによって表示される情報が異なります。

1 回押すと･･･

例 DVD-Video DVD-R/RW のタイトル情報画面

現在再生中のタイトル/グループの情報が表示されます。

2 回押すと･･･

例 DVD-Video のチャプター情報画面

例 DVD-R/RW のチャプター情報画面

現在再生中のチャプター/トラックの情報と転送レート *2 が表示されます。

3 回押すと･･･
表示が消えます。

*1 24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されているときに表示されます(**P.15, 44**)。

*2 転送レートとは、DVD に記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが画質が良いとはかぎりません。

*3 一時停止中に現在再生しているフレームの番号が表示されます。

いろいろなディスクを再生しましょう

基本的な使いかた

メモ

再生する前に確認してください。
電源は入っていますか？(**P.8**)、ディスクは入っていますか？(**P.9**)

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	• Video CD では、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については **P.38** をご覧ください。 • MP3 では、ディスク情報を読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。
停止する	■	Video CD では、本体の表示窓に**[RESUME]**と表示されます。停止したトラックの初めを記憶します。リジューム機能を解除するには、**■ボタン**をもう一度押します。
一時停止する	II	通常の再生に戻すには、一時停止中に►、または **II ボタン**を押します。
頭出しする	I◄◄ ►►I	押した回数だけトラックをスキップします。
早送りする	►►	• 早送り中は画面に**[スキャン 1 ►►]**と表示されます。 • 早送りの速さを SACD Video CD CD(R/RW) は 2 段階(**スキャン 1 → 2**)に切り換えることができます。 • 早送り中に通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。 • マルチダイヤルを使って早送りすることもできます(**P.19**)。
早戻りする	◄◄	• 早戻し中は画面に**[スキャン 1 ◄◄]**と表示されます。 • 早戻しの速さを SACD Video CD CD(R/RW) は 2 段階(**スキャン 1 → 2**)に切り換えることができます。 • 早戻し中に通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。 • マルチダイヤルを使って早戻しすることもできます(**P.19**)。
トラックを指定して再生する	0 ～ 9 決定 E	• 見たい / 聞きたいトラックの番号を**数字(0 ～ 9)ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押してください(トラック番号を選択してから2秒以上経過すると自動的に再生を開始します)。 例 トラック 12 を再生するには、**1, 2** を押して**決定**します。 • MP3 では、再生中のフォルダー内のトラックのみを指定して再生することができます。

Q&A

Q1: ビデオ CD が再生できない。

→ パソコンで記録されたビデオCDは再生できないことがあります。

Q2: MP3 ファイルを記録したディスクが再生できない。

→ 本機はマルチセッションに対応していますが、セッションがクローズされていないと再生することができません。

→ 画面に[**このフォーマットは再生できません**]と表示されていませんか。このときは、下記のような原因が考えられます。
- 記録したディスクがISO9660フォーマットレベル 2 に準拠していない。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数44.1kHz、または48kHzで記録されていない(**P.70**)。

Q3: CD-R/RW が再生できない。

→ パソコンで記録されたCD-R/RWは再生できないことがあります。

Q4: CD-G が再生できない。

→ CD-G のグラフィック映像は再生できません。

Q5: リジューム機能が働かない。

→ SACD、CD、MP3 では、リジューム機能が働きません。

プレイモード画面を表示させましょう

よく使うボタン

	プレイモード画面を表示する。
	上下左右に操作して項目を選択 / 変更する。または、カーソルの位置を移動する。押すと項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。
	設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

1. プレイモードボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

- Video CD のPBC再生中にプレイモード画面を表示させることはできません。PBC再生を解除してください(**P.38**)。
- 設定画面からもプレイモードを選択することができます(**設定ボタン**を押して、設定画面を表示します)。

2. 項目を選択する

■ **A-B リピート(P.33)**
再生中のトラック内の指定した範囲を繰り返し再生します(SACD MP3 では、A-B リピート再生を選択することができません)。

■ **リピート(P.33)**
ディスク、またはトラックを繰り返し再生します。

■ **ランダム(P.34)**
トラックを順不同に再生します(SACD では、ランダム再生を選択することができません)。

■ **プログラム(P.34-35)**
トラックの順番を変えて再生します。

■ **サーチモード(P.36)**
トラック、または時間を指定して再生します。

3. カーソルを右へ移動する

指定した箇所を繰り返し再生しましょう（A-B リピート再生）

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.32)**をご覧になり、**[A-B リピート]**を選択してください。

1. 再生中にA-Bリピートを開始したい箇所で[A(開始箇所)]を選択して、決定する

2. A-Bリピートを終了したい箇所で[B(終了箇所)]を選択して、決定する

- A-B リピート再生を開始します。
- 本体表示窓に**[R_A B]**と表示されます。

通常の再生に戻すには･･･

[オフ]を選択して、決定する

メモ

A-B リピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。

Q&A

Q: MP3、またはSACDのA-Bリピート再生ができない。

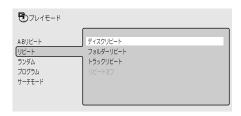
→ MP3、およびSACDではA-Bリピート再生ができません

繰り返し再生をしましょう（リピート再生）

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.32)**をご覧になり、**[リピート]**を選択してください。

再生中にリピート再生の種類を選択して、決定する

リピート再生を開始します。

例 MP3 のリピート画面

■ **ディスクリピート**

- 現在再生中のディスクを繰り返し再生します。
- 本体表示窓に**[R_DSC]**と表示されます。

■ **フォルダーリピート(MP3 のみ)**

- 現在再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
- 本体表示窓に**[R_FLD]**と表示されます。

■ **トラックリピート**

- 現在再生中のトラックを繰り返し再生します。
- 本体表示窓に**[R_TRK]**と表示されます。

■ **リピートオフ**

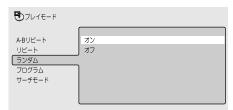
通常の再生に戻ります。

メモ

- リピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。
- リピート再生できないディスクがあります。
- リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。

順不同に再生をしましょう(ランダム再生)

まずは『**プレイモード画面を表示させましょう**』**(P.32)**をご覧になり、**[ランダム]**を選択してください。

[オン]を選択して、決定する
ランダム再生を開始します。

■ **オン**
- トラックを順不同に再生します
- 本体表示窓に[**RDM**]と表示されます。

■ **オフ**
通常の再生に戻ります。

メモ

- ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。
- 停止中にランダム再生を解除するには、■**ボタン**を押します。
- ランダム再生できないディスクがあります。
- ランダム再生とリピート再生、またはプログラム再生を同時に行うことはできません。
- ランダム再生中に ▶▶| を押すと、順不同に次のトラックを選択して再生します。また、|◀◀を押すと、現在再生中のトラックの始めに戻り再生します。このとき、現在再生中のトラックより前のトラックに戻ることはできません。

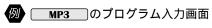
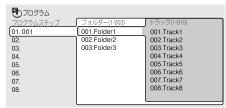
Q&A

Q: SACDのランダム再生ができない。
→ SACDでは、ランダム再生ができません。

順番を変えて再生しましょう(プログラム再生)

まずは『**プレイモード画面を表示させましょう**』**(P.32)**をご覧になり、**[プログラム]**を選択してください。24ステップまでプログラムすることができます。

1. [プログラム入力・編集]を選択して、決定する

2. プログラムしたいフォルダー/トラックを選択して、決定する

- MP3 では、フォルダー/トラックを選択します。
- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

3. 2を繰り返して他のトラックをプログラムする

ステップの間にプログラムを追加するには…

例 プログラムステップ 02 の前にトラック 7 を追加する

① **カーソルをプログラムステップ 02 に合わせる**

② **トラック 7 を選択して、決定する**

プログラムステップ02にトラック7が追加されます。もともとプログラムステップ02にあったプログラムは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには…

例 プログラムステップ 02 のプログラムを削除する

① **カーソルをプログラムステップ 02 に合わせる**

② **クリアボタンを押す**

プログラムステップ 02 のプログラムが削除され、その後ろにあったプログラムが1つ前に繰り上がります。

4. ► ボタンを押す

- プログラムした順に再生を開始します。
- 本体表示窓に[PGM]と表示されます。

メモ

- プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択します(**P.33**)。
- プログラム再生とランダム再生を同時に行うことはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみを行います。
- プログラム再生中に►►|を押すと、次のプログラムステップのトラックを再生します。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには…

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

メモ

本体の表示窓に[GUI]が表示されているときはリモコンの**クリアボタン**でプログラム再生を解除/全消去することができません。表示中のプレイモード画面、設定画面、または初期設定画面などをオフにしてから操作してください。

聴きたい曲を探しましょう(サーチモード)

まずは『*プレイモード画面を表示させましょう*』(P.32)をご覧になり、[**サーチモード**]を選択してください。

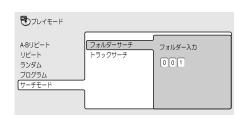
1. サーチモードの種類を選択して、決定する

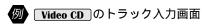
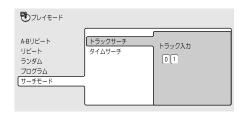
例 **MP3 のサーチモード画面**

- **フォルダーサーチ(MP3 のみ)**
  フォルダーを指定して再生します。
- **トラックサーチ**
  トラックを指定して再生します。
- **タイムサーチ(Video CD のみ)**
  現在再生中のトラック内の時間を指定して再生します。

2. 数字(0～9)ボタンで再生したいトラック、または時間を入力して、決定する

指定したトラック、または時間から再生を開始します。

フォルダーサーチを選択したとき･･･

フォルダー 3 を再生するには、**3** を押して**決定**します。

トラックサーチを選択したとき･･･

トラック 12 を再生するには、**1, 2** を押して**決定**します。

タイムサーチを選択したとき･･･

・21 分 43 秒から再生するには、**2, 1, 4, 3** を押して**決定**します。
・1 時間 4 分(64 分 00 秒)を選択するには、**6, 4, 0, 0** を押して**決定**します。

Q&A

Q1: タイムサーチができない。

→ SACD、CD(CD-R/RW)、または MP3 では、タイムサーチができません。

Q2: SACD のトラック 1 が指定できない。

→ 2 枚組以上の SACD では、2 枚目以降のディスクの 1 曲目がトラック 1 でないことがあります。例えば、ディスク 1 に 10 曲、ディスク 2 に 10 曲収録されている SACD では、ディスク 2 の 1 曲目がトラック 11 となることがあります。

ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

1. 設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

- **メニューボタン**でディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。
- Video CD のPBC再生中は設定画面を表示することができません。PBC再生を解除してください(**P.38**)。

2. [ディスクナビゲーター]を選択して、決定する

3. 再生したいフォルダー / トラックを選択して、決定する

例 MP3 のディスクナビゲーター画面

半角英数字以外で入力されているフォルダー / トラックの名前が[F_033]/[T_035]のように表示されることがあります(MP3 のみ)。

音声を切り換えましょう

音声ボタンを押す

押すたびに**ステレオ→ L(左)→ R(右)**が切り換わります。

メモ

- SACDの音声を切り換えることはできません。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

よく使うボタン

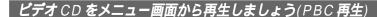
	上下左右に操作して項目を選択 / 変更する。または、カーソルの位置を移動する。押すと項目を決定する。
戻る	一つ前の画面に戻る。
設定	設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

ビデオ CD をメニュー画面から再生しましょう(PBC 再生)

よく使うボタン

上下左右に操作して項目を選択 / 変更する。または、カーソルの位置を移動する。押すと項目を決定する。

一つ前の画面に戻る。

設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

Video CD では、メニュー画面に従って再生することを PBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1. PBC 再生対応ディスクを入れ、► ボタンを押す

メニュー画面が表示され、PBC 再生を開始します。

ビデオCDカラオケ

1	Stand up!	Rock
2	Hello!	Pops
3	Over the Mountain	R&B
4	Help Me!	Jazz
5	It's fine today	Pops

2. 数字(0 ～ 9)ボタンで再生したいトラックを選択して、決定する

再生を開始します。

メモ

再生中に**戻る**ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページをめくる、または戻すには･･･

メニュー画面を表示中に ⏮、または ⏭ ボタンを押す。

メニュー画面を出さずに再生するには･･･(PBC 再生を解除して再生する)

下記のいずれかの操作で再生するトラックを選択します。

- **停止中に ⏮、または ⏭ ボタンで選択**
- **停止中に数字(0 ～ 9)ボタンで選択して、決定する**

  トラックを選択してから、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

トラック 12 を再生するには、**1, 2** と押して**決定**します。

ビデオ CD をコマ送り再生しましょう

マルチダイヤルを使ってコマ送り再生することもできます(**P.20**)。

1. **再生中に ❚❚ ボタンを押す**
一時停止になります。

2. **❚❚►/❚► ボタンを押す**
押すたびにコマ送りします。

通常の再生に戻すには･･･

► ボタンを押す。

ビデオ CD をスロー再生しましょう

マルチダイヤルを使ってスロー再生することもできます(**P.19**)。

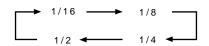
1. **再生中に ❚❚ ボタンを押す**
一時停止になります。

2. **❚❚►/❚► ボタンを押し続ける**
[スロー 1/16 ❚►]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

通常の再生に戻すには･･･

► ボタンを押す。

スロー再生の速さを変えるには･･･

スロー再生中に ❚❚►/❚► ボタンを押す
押すたびに下記のように速さが変わります。

Q&A

Q1: コマ送り / スロー再生中音声が出力されない。
→ コマ送り / スロー再生中は音声が出力されません。

Q2: 逆方向のコマ送り / スロー再生ができない。
→ ビデオ CD では、逆方向のコマ送り / スロー再生ができません。

ディスクの情報を見ましょう

再生中に画面表示ボタンを押す

- 画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。
- ディスクによって表示される情報が異なります。
- SACD では、**[SACD 再生]**の設定(**P.64**)で選択されている再生エリアによって表示される情報が異なります。

1 回押すと･･･

例 MP3 のトラック情報画面

再生 ►	MP3			フォルダーリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/17	0:06	3:26	3:32
トラック名	Track1			

- MP3 CD(R/RW) SACD では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- Video CD では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

2 回押すと･･･

例 MP3 のフォルダー情報画面

- MP3 では、現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。
- Video CD では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- CD(R/RW) SACD では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

3 回押すと･･･
表示が消えます。

Q&A

Q: 時間情報が表示されない。
→ ファイナライズしていない CD-R/RW では一部の時間情報が表示されないことがあります。
→ ビデオ CD の PBC 再生中は一部の情報が表示されません。PBC 再生を解除してください(**P.38**)。

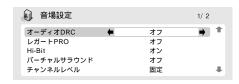
音場を設定しましょう

音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整しましょう(オーディオ DRC)

オーディオ DRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、映画の台詞などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。**オーディオDRCはドルビーデジタル音声にのみ働きます。**

1. 設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

2. [音場設定]を選択して、決定する

3. [オーディオ DRC]の[オン]、または[オフ]を選択して、決定する

オフ(出荷時の設定)
オーディオ DRC を解除します。高音質のスピーカーで臨場感が得られます。
オン
爆発音などの大音量を抑え、台詞などが聞きやすくなります。

メモ

- ディスクによっては効果の少ないものがあります。
- オーディオ DRC はデジタル音声出力端子(光 / 同軸)から出力される音声にも効果があります。ただし、**[デジタル音声出力]**の**[デジタル出力]**を**[オン]**(**P.52**)に設定して、さらに**[DD Digital 出力]**を**[DD Digital > PCM]**(**P.53**)に設定してください。
- オーディオ DRC の効果は、お使いのスピーカーやテレビ、またはAVアンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定を選択してください。

好みや曲に合わせて音色を設定しましょう(レガート PRO)

4種類の音色から選択することができます。それぞれの音色の特徴については下記をご覧ください。

1. 設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

2. [音場設定]を選択して、決定する

3. [レガート PRO]の音色の種類を選択して、決定する

音場設定　1/ 2

オーディオDRC	オフ
レガートPRO	オフ
Hi-Bit	オン
バーチャルサラウンド	オフ
チャンネルレベル	固定

オフ(出荷時の設定)
働きません。
スタンダード
オーディオ用ワイドレンジフィルターによる推奨の音色です。
エフェクト 1
明るく華やかな音色です。
エフェクト 2
量感があり、柔らかく落ち着いた音色です。
エフェクト 3
重厚でバランスのとれた音色です。

メモ

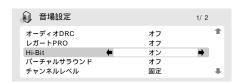
- レガートPRO機能の切り換えによるオーディオ用デジタルフィルタの設定は、主に音声帯域外の特性を変化させています。
- 試聴環境によっては、音色の変化が分かりにくいことがあります。
- レガートPRO機能の効果はフロントスピーカーから出力される音声にのみ有効です。
- レガート PRO 機能は、SACD および 192kHz で収録された DVD オーディオには効果がありません。

滑らかで繊細な音質を楽しみましょう(Hi-Bit)

16～20ビットの音声データを24ビットにすることにより、低レベルでも滑らかで繊細な音質を楽しむことができます。

1. **設定ボタンを押して、設定画面を表示させる**

2. **[音場設定]を選択して、決定する**

3. **[Hi-Bit]の[オン]、または[オフ]を選択して、決定する**

オン(出荷時の設定)
Hi-Bit機能が働きます。
オフ
働きません。

2つのスピーカーで臨場感のある立体音場を再現しましょう(バーチャルサラウンド)

1. **設定ボタンを押して、メインメニュー画面を表示させる**

2. **[音場設定]を選択して、決定する**

3. **[バーチャルサラウンド]の[□□V/TruSurround]、または[オフ]を選択して、決定する**

音場設定 1/ 2
オーディオDRC オフ
レガートPRO オフ
Hi-Bit オン
バーチャルサラウンド オフ
チャンネルレベル 固定

オフ
働きません**(出荷時の設定)**。
□□V/TruSurround
立体音場(サラウンド)になります。

リモコンでバーチャルサラウンドにするには・・・

サラウンドボタンを押して、[□□V/TruSurround]、または[オフ]を選択する。

メモ

- **TruSurround* とバーチャルドルビーデジタルについて**
  バーチャルサラウンドをオンにすると、2本のスピーカーのみで臨場感のあるサラウンド効果を楽しむことができます。特にドルビーデジタル音声を再生しているときは、SRS社のTruSurround技術によるバーチャルドルビーデジタルが働き、より広がりのある立体音場(3Dサラウンド)が再現されます。

- DVDオーディオ/SACD/MP3/CD、またはリニアPCM96kHz音声には効果がありません。
- **[音声出力モード]**(**P.65**)を**[2チャンネル]**に設定してください。
- ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。

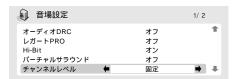
* *TruSurroundと(●)記号はSRS Labs,Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。*

スピーカーの出力レベルを調整しましょう(チャンネルレベル)

音声出力(5.1ch)端子にAVアンプを接続しているときに設定します。

1. 設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

2. [音場設定]を選択して、決定する

3. [チャンネルレベル]の[固定]、または[可変]を選択して、決定する

固定(出荷時の設定)
出力レベルが 0.0dB に固定されます。
可変
出力レベルを－ 6dB ～＋ 6dB まで 0.5dB の単位で調整することができます。ジョイスティックを下に操作すると、それぞれのスピーカーの出力レベルを調整する画面が表示されます。
右記の『***[可変]を選択したとき***』をご覧ください。

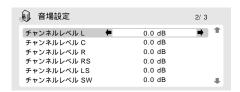
メモ

設定画面ではスピーカーの種類を下記のように表示しています。

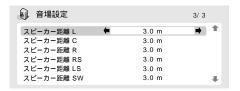
L	フロント(左)	RS	サラウンド(右)
C	センター	LS	サラウンド(左)
R	フロント(右)	SW	サブウーファー

[可変]を選択したとき･･･

ジョイスティックの上下でスピーカーを選択して、左右で出力レベルを調整する。

メモ

- **[スピーカー設定]**(**P.66**)で**[オフ]**を選択しているスピーカーの出力レベルを設定することはできません。
- **[可変]**を選択したとき、すべてのスピーカーの出力レベルは－ 6.0dBに設定されます。－ 6.0dBから**[C]**、**[LS]**、**[RS]**、および**[SW]**の出力レベルをそれぞれ－ 6.0dB～ 6.0dBの範囲で調整します。従って、**[可変]**で設定できる最大出力レベルは、**[固定]**と同じ 6.0dB になります。
  そのため、**[可変]**を選択したときは、ほとんどの場合**[固定]**を選択したときよりも出力レベルが小さくなります。

スピーカーの距離を設定するには･･･

① **[チャンネルレベル SW]の位置でジョイスティックを下に操作する。**
[スピーカー距離]の画面が表示されます。

② **ジョイスティックの上下でスピーカーを選択して、左右で距離を設定する**
リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を0.3m～9.0mまで設定することができます。設定した距離に合わせて、各スピーカーから出力されるディレイタイム(遅延時間)が設定されます。

メモ

SACD を再生するときは距離の設定が無効になります。

画質を調整しましょう

あらかじめ設定されている画質を選択しましょう

お使いのモニターの種類(テレビやプラズマディスプレイなど)に合わせた画質を選択することができます。また、画質をお好みに調整して記憶することができます。

1. 設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

リモコンの**画質調整ボタン**を押して、画質調整画面を表示させることもできます。

2. [画質調整]を選択して、決定する

3. [テレビ(CRT)]、[プラズマ]、または[プロフェッショナル]のいずれかを選択して、決定する

画質調整画面が消えます。自動的に画質調整画面が消えたときは設定した内容が無効になります。

テレビ(CRT)
テレビ(CRT)モニターに適した画質です。
プラズマ
プラズマディスプレイに適した画質です。
プロフェッショナル(出荷時の設定)
プロ用モニターに適した設定で、本機による映像信号調整処理を抑えた画質です
メモリー 1/ メモリー 2/ メモリー 3
好みに調整した画質設定を記憶させることができます。右記の『***好みの画質に調整しましょう***』をご覧ください。

好みの画質に調整しましょう

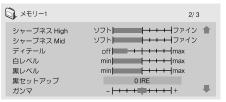
1. 設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

2. [画質調整]を選択して、決定する

3. [メモリー1]、[メモリー2]、または[メモリー3]を選択する

自動的に画質調整画面が消えたときは設定が無効になります。

4. [詳細設定]を選択して、決定する

5. 項目を選択する

画面表示ボタンを押すと、項目が1行表示になります。押すたびに全画面表示と一行表示が切り換わります。

設定呼び出し
[メモリー1]、**[メモリー2]**、または**[メモリー3]**に設定されている画質を呼び出します。
プログレモーション
プログレッシブスキャン映像に効果を与える設定です。動画向き、または静止画向きの映像に調整します。プログレッシブが出力されているときのみ調整することができます。
ピュアシネマ
プログレッシブスキャン回路とDNRの動作をフィルム素材のDVDの再生に最適な設定にします。通常は**[Auto1]**に設定しますが、映像が不自然なときは**[Auto2]**、**[On]**、または**[Off]**にします。右記の『***ピュアシネマモードについて***』をご覧ください。
YNR
輝度(Y)信号のノイズを軽減します。
CNR
色(C)信号のノイズを軽減します。
MNR
映像のモスキートノイズ(MPEG圧縮時に映像の輪郭部分に発生するノイズ)を軽減します。
BNR
映像のブロックノイズを軽減します。
シャープネス High
高域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。
シャープネス Mid
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。
ディテール
画像の輪郭を強調します。
白レベル
白色のレベルを調整します。
黒レベル
黒色のレベルを調整します。
黒セットアップ
黒色の浮きを補正し、立体感のある引き締まった映像を再現します。
ガンマ
画像の暗い部分の見えかたを強調します。
色あい
緑色と赤色のバランスを調整します。
色の濃さ
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。
クロマディレイ
映像の輝度(Y)信号と色(C)信号のずれを調整します。

6. **←　→で各項目を調整 / 選択する**

7. **手順5～6を繰り返して、すべての項目を調整して、決定する**

- すでに画質設定が記憶されているときは新しく設定した内容が上書きされます。
- 設定終了後は、必ず**決定ボタン**を押してください。設定した内容が記憶されません。

メモ

ディスクやテレビ(モニター)によっては効果がはっきりしないことがあります。

ピュアシネマモードについて

DVDビデオの映像信号には次の2種類があります。

- **「ビデオ素材」**といわれる映像情報を30コマ/秒で記録した信号
- **「フィルム素材」**といわれる映像情報を24コマ/秒で記録した信号

「フィルム素材」である映画フィルムは24コマ/秒(24Hz)で記録されており、この**「ピュアシネマ」**モードは、そのような24コマ/秒で記録された映像情報を60コマ/秒のプログレッシブ画面に変換する際に、ディスクに記録された処理情報をもとにオリジナルの映画フィルムに忠実な走査線の構成をします。それにより原画に近い鮮明な映像を楽しむことができます。
この設定は通常**[オート1]**でお楽しみください。ディスクによっては輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりすることがあります。そのようなときは設定を**[オート2]**、**[オフ]**、または**[オン]**に切り換えてご覧ください。
「フィルム素材」の(24コマ/秒で記録された)DVDビデオが再生されているときは、それをディスクの情報画面で確認することができます。
ディスクの情報画面を表示するには、**画面表示ボタン**を押します。詳しくは**P.29**をご覧ください。

また、**「ビデオ素材」**で**[オン]**を選択すると奇数フィールドと偶数フィールドを合成し、1枚のフレーム情報としてプログレッシブ変換します。比較的動きの少ない**「ビデオ素材」**や30P(プログレッシブ)記録された**「ビデオ素材」**の再生に適しています。輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりするときは**[オート1]**、**[オート2]**、または**[オフ]**に切り換えてご覧ください。

こんな接続のしかたもあります

DVDの5.1chサラウンドを楽しむための接続をしましょう

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

メモ

5.1chサラウンドを楽しむために必要な機器は？

- ドルビーデジタル/DTSなどのデジタル入力に対応したAVアンプ、またはデコーダー
- 5chスピーカー(フロント左右/センター/サラウンド左右)＋サブウーファー
- 光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブル
- DTS5.1chサラウンドを楽しむときは、**[DTS出力]**の設定で**[DTS]**を選択してください(**P.53**)。
- DVDオーディオのマルチチャンネル音声、およびSACDでは、デジタル音声が出力されません。アナログ音声出力端子(5.1ch、または2ch)を接続してください(**P.46-47**)。**P.81**も合わせてご覧ください。

壁などの電源コンセント
(AC 100V、50/60Hz)

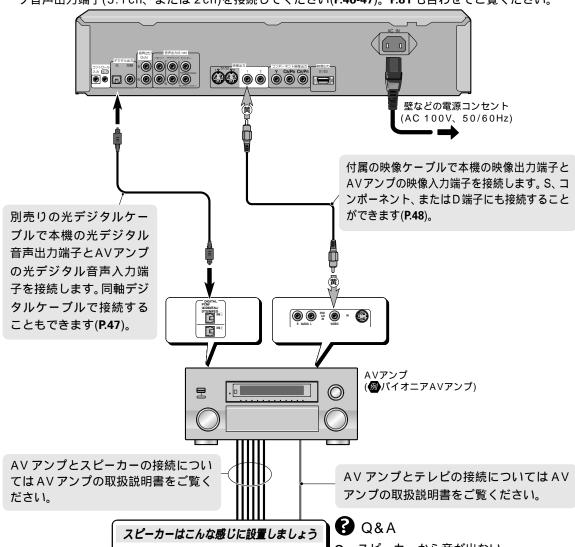
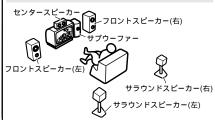
付属の映像ケーブルで本機の**映像出力端子**とAVアンプの**映像入力端子**を接続します。S、コンポーネント、またはD端子にも接続することができます(**P.48**)。

別売りの光デジタルケーブルで本機の**光デジタル音声出力端子**とAVアンプの**光デジタル音声入力端子**を接続します。同軸デジタルケーブルで接続することもできます(**P.47**)。

AVアンプ
(例 パイオニアAVアンプ)

AVアンプとスピーカーの接続についてはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

AVアンプとテレビの接続についてはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

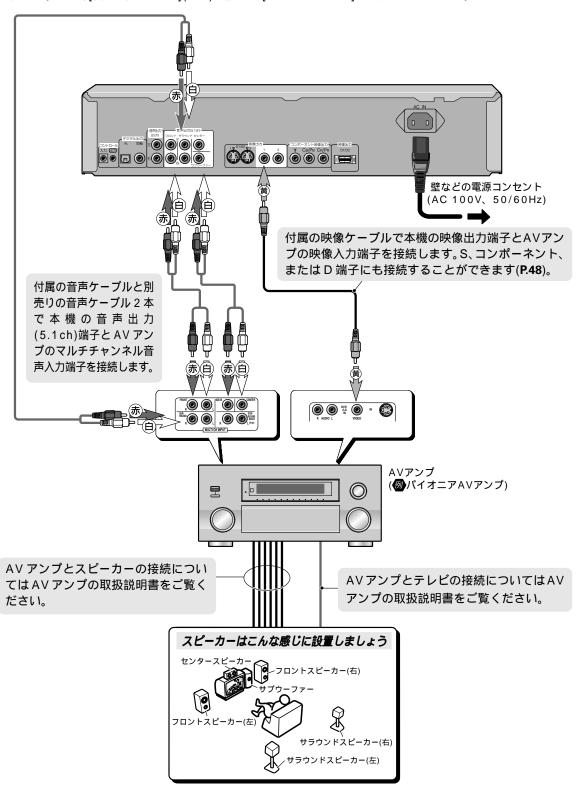
Q&A

Q: スピーカーから音が出ない。

→ AVアンプの入力設定が正しく選択されていますか？詳しくはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

→ **[デジタル音声出力]**の設定で**[オフ]**を選択していませんか？**[オン]**を選択してください(**P.52**)。

こんな接続のしかたもあります

5.1ch アナログ音声出力端子を接続して 5.1ch サラウンドを楽しみましょう

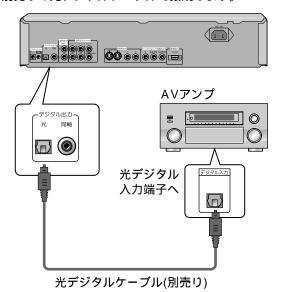
5.1chアナログ音声出力端子を接続するときは、付属の音声ケーブル(1本)と別売りの音声ケーブル(2本)が必要です。また、**[音声出力モード]**(**P.65**)の設定で**[5.1 チャンネル]**を選択してください。

デジタル音声入力端子のある機器と接続できます

デジタル音声入力端子のあるAVアンプやデジタル録音対応機器(MD、CD-R(CDレコーダー)、DATなど)とデジタル接続することができます。光デジタル端子と同軸デジタル端子に接続する2つの方法があります。

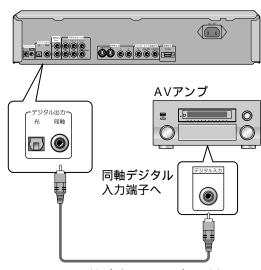
メモ

本機の光端子はシャッター式です。光出力端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

光デジタル音声入力端子のある機器と接続できます

別売りの光デジタルケーブルで接続します。

光デジタルケーブル(別売り)

同軸デジタル音声入力端子のある機器と接続できます

別売りの同軸デジタルケーブルで接続します。

75 Ω同軸デジタルケーブル(別売り)

2ch アナログ音声入力端子やモノラル音声入力端子のある機器と接続できます

2ch アナログ音声入力端子と接続できます

付属の音声ケーブルで接続します。

ステレオアンプ

音声出力 (2ch)　左　右

白　赤

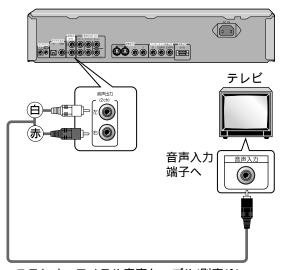
音声入力　右　左

音声入力端子へ

赤　白

音声ケーブル(付属)

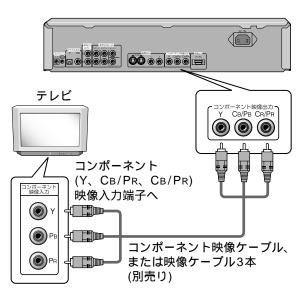
モノラル音声入力端子のあるテレビと接続できます

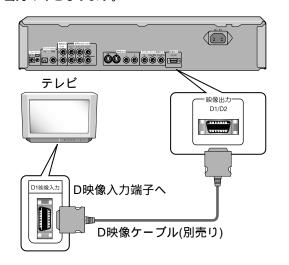
別売りのステレオ⇔モノラル音声ケーブルで接続します。

ステレオ⇔モノラル音声ケーブル(別売り)

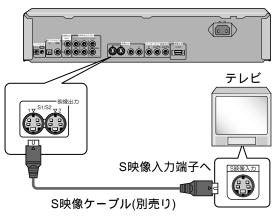
こんな接続のしかたもあります

いろいろな映像入力端子のあるテレビと接続できます

コンポーネント(Y, CB/PB, CR/PR)映像入力端子のあるテレビと接続できます

別売りのコンポーネント映像ケーブルで接続します。本機の高品位な映像品質を楽しむときにもっとも適した接続です。

D 映像入力端子のあるテレビと接続できます

別売りの D 映像ケーブルで接続します。専用ケーブル1本で、コンポーネント映像ケーブルを使った接続と同様の高品位な映像品質です。本機のD1/D2端子は、接続するテレビの D1、D2、D3、または D4 のいずれの入力端子にも接続することができます。ただし、D1 入力端子と接続したときは、インターレース出力のみとなります。

S 映像入力端子のあるテレビと接続できます

別売りの S 映像ケーブルで接続します。付属の映像ケーブルを使った接続より、高品位な映像です。初期設定画面で[S1]、または[S2]を切り換えることができます(**P.55**)。

メモ

本機のS1/S2映像出力1端子にS1/S2映像信号に対応していない機器を接続しているとき、S1/S2映像出力2端子にS1/S2映像信号に対応している機器を接続すると、アスペクト比の自動切換機能が働きません。また、D1/D2端子に対応している機器を接続したときも同様に働きません。

SR マークの付いたパイオニア AV アンプなどと接続できます

AVアンプなどのリモコンで本機を操作することができます。市販のミニプラグ付きケーブル(抵抗なし、3.5 φ)で本機のコントロール入力端子と AV アンプなどのコントロール出力端子を接続します。

メモ

- システムコントロール接続するときは、市販のミニプラグ付きケーブル以外にデジタル(同軸)ケーブル、アナログ音声ケーブル、または映像ケーブルのいずれかを必ず接続してください。
- システムコントロール接続したときは、接続した機器(AVアンプなど)にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けて操作することはできません。
- SRマークのない機器やパイオニア以外の製品とシステムコントロール接続することはできません。

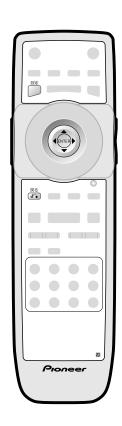
セットアップナビゲーターで設定しましょう

ここでは本機とAVアンプを接続したときに必要な最低限の設定をします。本機では、セットアップナビゲーターで簡単に設定することができます。

よく使うボタン

上下左右に操作して項目を選択 / 変更する。または、カーソルの位置を移動する。押すと項目を決定する。

一つ前の画面に戻る。

設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

セットアップナビゲーターを開始しましょう

1. 設定ボタンを押して設定画面を表示させる

2. [セットアップナビゲーター]を選択して、決定する

ディスクを再生中にセットアップナビゲーターを選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

DVDに表示される言語を[日本語]にしますか？[英語]にしますか？それとも[その他の言語]にしますか？

項目を選択して、決定する

[その他の言語]を選んだときは･･･

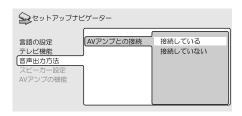
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは**P.58**の『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

接続したテレビはプログレッシブに対応していますか？

項目を選択して、決定する

セットアップナビゲーターで設定しましょう

AVアンプに接続していますか？

AVアンプとの接続については**P.45–47**をご覧ください。

項目を選択して、決定する

- **[接続している]**を選択したときは『***音声出力(5.1ch)端子に接続していますか？***』に進みます。
- **[接続していない]**を選択したときは『***セットアップナビゲーターを終了しましょう***』に進みます。

音声出力(5.1ch)端子に接続していますか？

音声出力(5.1ch)端子との接続については**P.46**をご覧ください。

項目を選択して、決定する

デジタル音声出力端子に接続していますか？

デジタル音声出力端子との接続については**P.45,47**をご覧ください。

項目を選択して、決定する

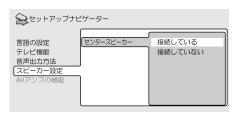
[5.1ch音声出力端子]の設定で[接続している]を選択したとき…

- **[接続している]**、**[接続していない]**に関わらず、『***センタースピーカーに接続していますか？***』に進みます。

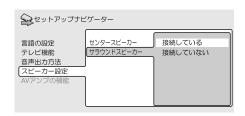
[5.1ch音声出力端子]の設定で[接続していない]を選択したとき…

- **[接続している]**を選択したときは『***ドルビーデジタルに対応していますか？***』に進みます。
- **[接続していない]**を選択したときは『***セットアップナビゲーターを終了しましょう***』に進みます。

センタースピーカーに接続していますか？

スピーカーとの接続についてはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

項目を選択して、決定する

サラウンドスピーカーに接続していますか？

スピーカーとの接続についてはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

項目を選択して、決定する

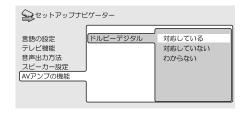
サブウーファーに接続していますか？

スピーカーとの接続についてはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

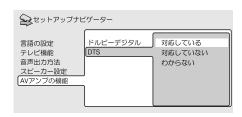
項目を選択して、決定する

- **[デジタル音声出力の設定]**で**[接続している]**を選択しているときは『***ドルビーデジタルに対応していますか？***』に進みます。
- **[デジタル音声出力の設定]**で**[接続していない]**を選択しているときは『***セットアップナビゲーターを終了しましょう***』に進みます。

ドルビーデジタルに対応していますか？

AV アンプの取扱説明書も合わせてご覧ください。

項目を選択して、決定する

DTS に対応していますか？

AV アンプの取扱説明書も合わせてご覧ください。

項目を選択して、決定する

96kHz リニア PCM に対応していますか？

AV アンプの取扱説明書も合わせてご覧ください。

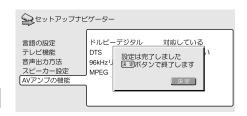
項目を選択して、決定する

MPEG に対応していますか？

AV アンプの取扱説明書も合わせてご覧ください。

項目を選択して、決定する

セットアップナビゲーターを終了しましょう

決定する

デジタル音声出力の設定を変更したいとき

よく使うボタン

上下左右に操作して項目を選択 / 変更する。または、カーソルの位置を移動する。押すと項目を決定する。

一つ前の画面に戻る。

設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

デジタル出力端子から音声を出力しますか？

1. 設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

2. [初期設定]を選択して、決定する

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3. [デジタル音声出力]を選択して、カーソルを右へ移動する

4. [デジタル出力]を選択して、カーソルを右へ移動する

初期設定
デジタル音声出力 / 映像出力 / 言語 / 表示 / オプション / スピーカー
デジタル出力 / Digital出力 / DTS出力 / リニアPCM出力 / MPEG出力
■ オン / オフ

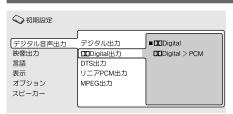
5. [オン]、または[オフ]を選択して、決定する。

オン(出荷時の設定)

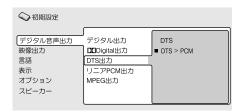
本体後面のデジタル出力端子から音声を出力します。

オフ

本体後面のデジタル出力端子から音声が出力されません。

接続しているAVアンプはドルビーデジタルに対応していますか？

DDDigital(出荷時の設定)
ドルビーデジタル対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選択します。

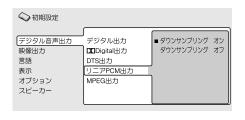
DDDigital > PCM
ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選択します。

接続しているAVアンプはDTSに対応していますか？

DTS
DTS対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選択します。

DTS > PCM(出荷時の設定)
DTS信号をリニアPCM信号に変換して出力します。DTSに対応していないアンプと接続したときに選択します。

注意

- **DTSに対応していないアンプに接続しているときに[DTS]を選択するとノイズが発生することがあります。**
- **DTS CDでは、設定に関わらず常にDTS信号が出力されます。**

接続しているAVアンプはリニアPCMに対応していますか？

ダウンサンプルオン(出荷時の設定)
各系統の音声周波数を48/44.1kHzにダウンサンプリングして出力します。96kHzに対応していないアンプと接続したときに選択します。

ダウンサンプリングオフ
96kHz対応アンプまたはDACと接続したときに選択します。

メモ

- ディスクによっては、**[ダウンサンプルオフ]**を選択していても48kHz/44.1kHzに強制的に変換されたり、デジタル出力されないことがあります。
- DVDオーディオの192/176.4kHzサンプリング音声のとき、**[ダウンサンプルオフ]**を選択していてもデジタル出力は強制的に96/88.2kHzにダウンサンプルされます。

接続しているAVアンプはMPEGに対応していますか？

MPEG
MPEG対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選択します。

MPEG > PCM(出荷時の設定)
MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないアンプと接続したときに選択します。

映像出力の設定を変更したいとき

よく使うボタン

上下左右に操作して項目を選択／変更する。または、カーソルの位置を移動する。押すと項目を決定する。

戻る
一つ前の画面に戻る。

設定
設定画面を表示する。操作／設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

テレビのサイズはワイド(16:9)ですか？従来サイズ(4:3)ですか？

4:3(レターボックス)
従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式(下記)で見たいときに選択します。

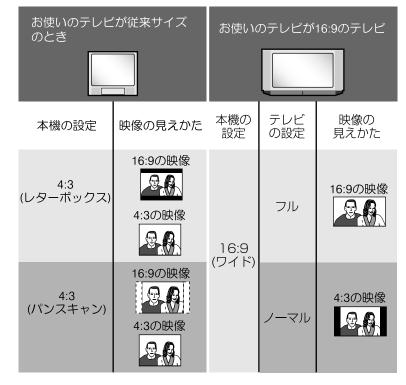
4:3(パンスキャン)
従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式(下記)で見たいときに選択します。**この設定はディスクが対応していないとできません。**

16:9(ワイド)(出荷時の設定)
ワイド(16:9)テレビと接続したときに選択します。

16:9(シュリンク)
接続しているプログレッシブ対応テレビでアスペクトの切り換えができないとき選択します(4:3の映像が横長(16:9の映像)になってしまっているが、テレビ側で4:3の映像に切り換えることができないとき)。

お使いのテレビに合わせた[テレビ画面]の設定は･･･

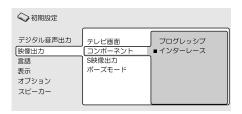
お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の**[テレビ画面]**の設定をしてください。

お使いのテレビが従来サイズのとき		お使いのテレビが16:9のテレビ		
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	テレビの設定	映像の見えかた
4:3(レターボックス)	16:9の映像 4:3の映像	16:9(ワイド)	フル	16:9の映像
4:3(パンスキャン)	16:9の映像 4:3の映像		ノーマル	4:3の映像

プログレッシブ対応テレビ側でアスペクトの切り換えができないとき16:9(シュリンク)を選択します。

お使いのテレビが16:9のテレビ	本機の設定	テレビの設定	映像の見えかた
	16:9(シュリンク) ※プログレッシブ出力にのみ有効	フル	4:3の映像

メモ

画面の比率(アスペクト比)の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

映像の出力方式をプログレッシブ出力にしますか?(コンポーネント出力)

プログレッシブ
きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ入力に対応しているテレビ、またはプロジェクターのときに選択します。

インターレース(出荷時の設定)
プログレッシブ入力に対応していないテレビ、またはプロジェクターのときに選択します。

S 映像端子から出力される映像信号を切り換えますか?(S 映像出力)

S 1
S 1 映像信号が出力されます(**P.77**)。

S 2(出荷時の設定)
S 2 映像信号が出力されます(**P.77**)。

本機とテレビを S 映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは[**S 1**]を選択してください。

DVD を一時停止しているときの画像のブレをなくして、画質を鮮明にしますか? (ポーズモード)

フィールド
一時停止中の画像のブレをなくして、画質を鮮明にします。

フレーム
通常モードです。

自動(出荷時の設定)
[フィールド]と**[フレーム]**を自動的に切り換えます。

メモ

[フィールド]を選択しても画質が鮮明にならないディスクもあります。

言語の設定を変更したいとき

よく使うボタン

上下左右に操作して項目を選択 / 変更する。または、カーソルの位置を移動する。押すと項目を決定する。

戻る
一つ前の画面に戻る。

設定
設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

音声言語を変更しますか？

日本語(出荷時の設定)
音声言語が日本語になります。

英語
音声言語が英語になります。

その他の言語
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは**P.58**の『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

メモ

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。
- ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。

字幕言語を変更しますか？

日本語(出荷時の設定)
日本語の字幕を表示します。

英語
英語の字幕を表示します。

その他の言語
136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは**P.58**の『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

メモ

- ディスクによっては、ディスクで決められている字幕の言語になることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。

音声や字幕を初期設定で設定した言語にしますか？(自動言語設定)

オン(出荷時の設定)

[音声言語]と**[字幕言語]**で選択されている言語が同じとき、および**[字幕表示]**が**[オン]**のとき有効となります。一般的に洋画DVDビデオでは、音声がオリジナル言語、字幕が日本語に選択されています。また、邦画DVDビデオでも、音声が日本語、字幕がオフに選択されているのが一般的です。ただし、このように動作しないディスクもあります。

オフ

再生中の音声の自動言語設定が解除されます。音声が**[音声言語]**、字幕が**[字幕言語]**で選択されている言語になります。

DVDビデオのメニューに表示する言語を変更しますか？(DVDメニュー言語)

字幕言語に連動(出荷時の設定)

[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。

日本語

日本語でメニュー画面が表示されます。

英語

英語でメニュー画面が表示されます。

その他の言語

136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは**P.58**の『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

言語の設定を変更したいとき

字幕言語 / 音声言語 / DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは…

P.78の言語コード表を見ながら操作します。DVDビデオに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1. [その他の言語]を選択して、決定する

例 DVD メニュー言語のとき

2. [言語表]、または[コード]を選択して、決定する

言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(**P.78**)をご覧ください。

[言語表]で言語を選ぶとき

例 フランス語を選択する

ジョイスティックを上に 2 回操作します。

[コード]で言語を選ぶとき

下記のいずれかの操作をします。

例 フランス語を選択する

- **数字ボタンの 0, 6, 1, 8 を押す。**
- **1ケタごとにジョイスティックを上下に操作して数字を選択する(左右に操作してケタを移動します。)**

字幕を表示しないようにしますか？(字幕表示)

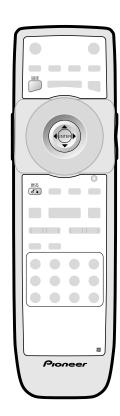
オン(出荷時の設定)
字幕を表示します。
オフ
字幕を表示しません。ただし、DVD の中には強制的に字幕を表示するものがあります。
アシスト字幕
アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕がディスクに収録されていないときは表示されません。(アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況などを説明する字幕です。)

表示の設定を変更したいとき

よく使うボタン

上下左右に操作して項目を選択 / 変更する。または、カーソルの位置を移動する。押すと項目を決定する。

一つ前の画面に戻る。

設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

画面に表示される言語を英語にしますか？(画面表示言語)

日本語(出荷時の設定)
画面に表示される言語が日本語になります。

English
画面に表示される言語が英語になります。

画面に操作表示(「再生」、「停止」など)をしないようにしますか？(画面表示)

オン(出荷時の設定)
画面に操作表示をします。

オフ
画面に操作表示をしません。

アングルマーク( )を表示しないようにしますか？(アングルマーク表示)

オン(出荷時の設定)
画面に マークを表示します。

オフ
画面に マークを表示しません。

停止中の画面の背景にパイオニアロゴを表示しますか？(背景)

パイオニアロゴ
パイオニアロゴを背景に表示します。

黒(出荷時の設定)
黒色の背景を表示します。

スクリーンセーバー機能をオンにしますか？

オン
約 5 分同じ画像が表示されるとスクリーンセーバー機能が働きます。この機能は、長時間同じ画面が表示されたときに起きる画像の焼き付き(残像現象)を防ぎます。

オフ(出荷時の設定)
スクリーンセーバー機能が働きません。

オプションの設定

よく使うボタン

上下左右に操作して項目を選択 / 変更する。または、カーソルの位置を移動する。押すと項目を決定する。

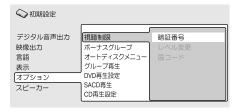
一つ前の画面に戻る。

設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

視聴制限をしますか？

暴力シーンなどを含む DVD-Video には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを 6 に設定しておくと、レベル 7 のディスクを再生することはできません。レベル 7 のディスクを再生するにはあらかじめレベルを 7 以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能です。国コードをあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。

暗証番号を登録するには･･･

1. [オプション]→[視聴制限]→[暗証番号]を選択して、決定する

2. 数字(0 ～ 9)ボタンで 4 桁の暗証番号を入力して、決定する

メモ

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、出荷時の設定に戻して(**P.69**)、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

視聴制限できる DVD ビデオを再生するには･･･

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。

数字(0 ～ 9)ボタンで 4 桁の暗証番号を入力して、決定する

レベルを変更するには・・・

1. [レベル変更]を選択して、決定する

2. 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する

3. レベルを選択して、決定する

暗証番号を変更するには・・・

1. [暗証番号変更]を選択して、決定する

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
スピーカー
視聴制限
ボーナスグループ
オートディスクメニュー
グループ再生
DVD再生方式
SACD再生
CD再生設定
暗証番号変更
レベル変更
国コード

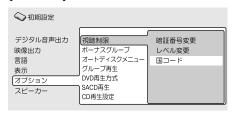
2. 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する

3. 数字(0～9)ボタンで新しい暗証番号を入力して、決定する

オプションの設定

国コードを変更するには･･･

P. 78 の国コード表を見ながら操作します。

1. [国コード]を選択して、決定する

2. 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する

3. 数字(0～9)ボタンで[コード]、またはジョイスティックを上下に操作して[国コード表]を入力して、決定する

[国コード表]で変更するとき･･･

例 日本を選択する

ジョイスティックを上下に操作して[jp]を選択する。

[コード]で変更するとき･･･

下記のいずれかの操作をします。

例 日本を選択する

- **数字(0 ～ 9)ボタンの 1, 0, 1, 6 を押す。**
- **1ケタごとにジョイスティックを上下に操作して数字を選択する(左右に操作してケタを移動します)。**

メモ

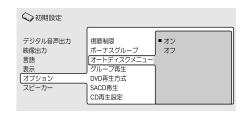
国コードを変更したときは、ディスクを取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

DVD オーディオのボーナスグループを再生しますか？(ボーナスグループ)

DVDオーディオには、「ボーナスグループ」とよばれるグループを持つものがあります。このボーナスグループを再生しようとすると、4 桁のキーナンバーの入力を求める画面が表示されますが、この設定であらかじめキーナンバーを入力しておくことができます。

メモ

ディスクを取り出す、または電源を切ると、入力されたキーナンバーの記憶が消去されます。ボーナスグループを再生するときはもう一度キーナンバーを入力してください。

ディスクをセットした後、自動的にメニュー画面を表示しないようにしますか？(オートディスクメニュー)

オン(出荷時の設定)
ディスクをセットするとメニュー画面が自動的に表示されます。
オフ
ディスクをセットしてもメニュー画面が表示されません。

DVD オーディオのすべてのグループを続けて再生しますか？(グループ再生)

連続
すべてのグループを続けて再生します。
単独(出荷時の設定)
選択したグループのみ再生します。

メモ

- ディスクのメニュー画面からも再生したいグループだけを選択することができます。
- **[単独]**を選択しているとき、ディスクのメニュー画面からすべてのグループを再生する項目を選択しても、1 つのグループのみを再生することがあります。
- **[グループ再生]**の設定で**[単独]**を選択しているとき、◀◀/▶▶ボタン、または|◀◀/▶▶|ボタンを使って、他のグループをまたいで早戻し/早送り、または頭出しすることはできません。グループサーチでグループを選択してください(**P.26**)。
- **[連続]**を選択していても、ディスクのメニュー画面から再生を始めたときは、すべてのグループを再生することができません。このようなときは、ディスクを停止してから再生を始めてください。

63

オプションの設定

DVD オーディオを DVD ビデオとして再生しますか？(DVD 再生設定)

DVD オーディオ(出荷時の設定)
本機をDVDオーディオプレーヤーとしてお使いになるときに選択します。
DVD ビデオ
本機をDVDビデオ専用プレーヤーとしてお使いになるときに選択します。

メモ

[DVD ビデオ]を選択していても、ディスクテーブルを開ける、または電源を切ると**[DVD オーディオ]**(出荷時の設定)に戻ります。

SACD のマルチチャンネルエリア、または CD チャンネルエリアを再生しますか？(SACD 再生)

SACD は、2 チャンネルと 5.1 チャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッド SACD は SACD 層と CD 層の 2 層構造になっています。ここでは SACD の再生するエリアを切り換えます。

2ch エリア(出荷時の設定)
2 チャンネルエリアを再生します。
マルチ ch エリア
マルチチャンネルエリアを再生します。
CD エリア
CD 層を再生します。

DTS CD を再生しますか？(CD 再生設定)

PCM 再生(出荷時の設定)
一般の音楽 CD を聴くときに設定します。
DTS CD 再生
DTS CD を聴くときに設定します。

ご注意

[DTS CD 再生]に設定して一般の音楽 CD を聴くと、音声出力端子からは音が出ません。
[PCM 再生]に設定して DTS CD を再生すると、最初にノイズが出ることがあります。

スピーカーの設定を変更したいとき

音声出力端子(5.1ch)から音声を出力しますか？(音声出力モード)

この設定はセットアップナビゲーター(**P.50**)でも変更することができます。

初期設定

デジタル音声出力	音声出力モード	■ 2チャンネル
映像出力	スピーカー設置	5.1チャンネル
言語	スピーカー距離補正	
表示	チャンネルレベル	
オプション		
スピーカー		

2 チャンネル(出荷時の設定)
テレビなどのステレオ音声入力端子と本機の音声出力(2ch)端子を接続したときに選択します。

5.1 チャンネル
AVアンプの5.1チャンネルアナログ音声入力端子などと本機の音声出力(5.1ch)端子を接続したときに選択します。

メモ

- **[2 チャンネル]**を選択しているときは、ドルビーデジタル、DTS、またはMPEGのマルチチャンネル音声は 2 チャンネル音声にダウンミックスして出力されます。
- DVD オーディオでは、**[5.1 チャンネル]**を選択しているとデジタル音声が出力されません。
- DVD オーディオにはダウンミックスを禁止しているディスクがあります。そのときは、**[2 チャンネル]**を選択していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。

音声出力について

	音声の種類	出力モード	音声出力(5.1CH) フロント左/右	センター	サラウンド左/右	サブウーファー
DVD	ドルビーデジタル	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
DVD	ドルビーデジタル	2CH	2CHダウンミックス 左/右	–	–	–
DVD	ドルビーデジタルカラオケ	5.1CH	左/右	–	–	–
DVD	ドルビーデジタルカラオケ	2CH	左/右	–	–	–
DVD	リニアPCM (DVDビデオ)	5.1CH	左/右	–	–	–
DVD	リニアPCM (DVDビデオ)	2CH	左/右	–	–	–
DVD	リニアPCM (DVDオーディオ)	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
DVD	リニアPCM (DVDオーディオ)	2CH	2CHダウンミックス *1 左/右	–	–	–
DVD	MPEG	5.1CH	左/右	–	–	–
DVD	MPEG	2CH	左/右	–	–	–
DVD	DTS	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
DVD	DTS	2CH	2CHダウンミックス 左/右	–	–	–
SACD		5.1CH	左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
SACD		2CH	2CHダウンミックス 左/右	–	–	–
CD		5.1/2CH	左/右	–	–	–
ビデオCD		5.1/2CH	左/右	–	–	–
DVD-RW		5.1/2CH	左/右 *3	–	–	–

*1 DVDオーディオでは、ダウンミックスを禁止しているディスクがあります。このときは、**[音声出力モード]**を**[2 チャンネル]**に設定していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。

*2 超低域成分

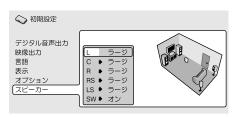
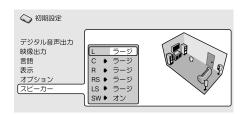
*3 モノラル音声のときもフロント左/右から出力されます。

- 表の■の部分は音声が出力されません。
- ディスクに一部のチャンネルが記録されていないときは、そのチャンネルから音声は出力されません。

スピーカーの設定を変更したいとき

各スピーカーのサイズを設定しますか？(スピーカー設置)

1. [スピーカー]から[スピーカー設置]を選択して、決定する

2. ジョイスティックを上下に操作してスピーカーを選択して、カーソルを右に移動する

3. ジョイスティックを上下に操作して大きさ、または接続の有無を選択する

ラージ(出荷時の設定)
大きいスピーカーに接続しているときに選択します(目安としてコーンサイズ 12cm 以上)。

スモール
小さいスピーカーに接続しているときに選択します(目安としてコーンサイズ 12cm 未満)。

オフ
接続していないときに選択します。

オン
サブウーファー(SW)を接続しているときに選択します(SW では**[オン]**/**[オフ]**を設定します)。

4. 手順2〜3を繰り返して、各スピーカーの設定をする

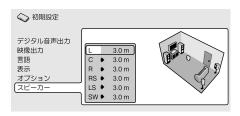
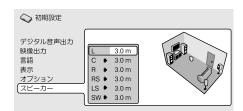
5. 決定する
[スピーカー設置]の画面が消えます。

メモ

- SW(サブウーファー)を**[オン]**に設定しているときは、LFE(超低音の効果音)がサブウーファーから出力します。
- L(フロント左)/R(フロント右)スピーカーを**[スモール]**に設定すると、RS(サラウンド右)/LS(サラウンド左)スピーカーの大きさは自動的に**[スモール]**に設定されます。また、SW(サブウーファー)は**[オン]**に設定されます。

リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定しますか？(スピーカー距離補正)

1. [スピーカー]から[スピーカー距離補正]を選択して、決定する

2. ジョイスティックを上下に操作してスピーカーを選択して、カーソルを右に移動する

3. ジョイスティックを上下に操作して距離を設定する

設定できる範囲は以下のとおりです。

L/R

0.3m ～ 9m

C、SW

L/R の距離から－ 2m ～ +2m

LS/RS

L/R の距離から－ 6m ～ +2m

4. 手順2～3を繰り返して、各スピーカーの距離を設定する

5. 決定する

[スピーカー距離補正]の画面が消えます。

メモ

- 5.1チャンネル再生では、スピーカーの距離の設定はすべてのスピーカーは同一サイズ、リスニングポジションから等距離にあることが理想です。それが不可能な場合、各スピーカーにディレイタイム(遅延時間)を設定することで、仮想的に理想の視聴空間を実現します。
- SACD を再生するときは距離の設定が無効になります。

スピーカーの設定を変更したいとき

スピーカーの出力レベルを調整しますか？(チャンネルレベル)

音声出力(5.1ch)端子に AV アンプを接続しているときに設定します。テストトーンを聞きながら各スピーカーの出力レベルを設定することができます。

1. [スピーカー]から[チャンネルレベル]を選択して、カーソルを右に移動する

2. ジョイスティックを上下に操作して[固定]、または[可変]を選択して、決定する

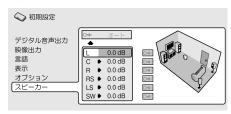
固定(出荷時の設定)

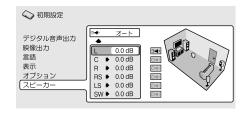
出力レベルが 0.0dB に固定されます。

可変

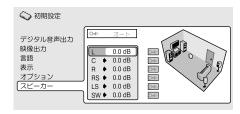
出力レベルを 0.5dB の単位で調整することができます(－ 6dB ～＋ 6dB まで)。

※[可変]を選択したときは手順 3 に進みます。

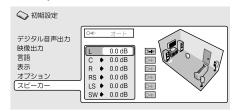
3. ジョイスティックを上下に操作してスピーカーを選択する

テストトーンを自動で出力するには･･･

[L]の位置でカーソルを上に移動する。

- 自動的にテストトーンを開始します。
- L → C → R → RS → LS の順で出力されます。

テストトーンを手動で出力するには･･･

① カーソルを右へ移動する。

② ジョイスティックを上下に操作して出力レベルを調整する。

③ カーソルを右へ移動する。

選択しているスピーカーのテストトーンが出力されます。

④ ①～③を繰り返して、他のスピーカーの出力レベルを調整する

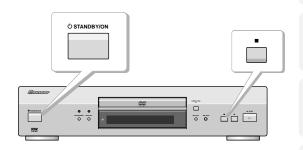
4. 決定する

テストトーンを中止するには･･･

カーソルを出力レベル調整の位置に移動する。または、決定する
[チャンネルレベル]の画面が消えます。

メモ

- チャンネルレベルは**[音声出力モード]**の設定(**P.65**)で**[5.1チャンネル]**を選択しているときのみ効果があります。
- **[スピーカー設置]**(**P.66**)で**[オフ]**を選択しているスピーカーの出力レベルの設定はできません。
- **[可変]**を選択したとき、すべてのスピーカーの出力レベルは－6.0dBに設定されます。－6.0dBから**[C]**、**[LS]**、**[RS]**、および**[SW]**の出力レベルをそれぞれ－6.0dB～6.0dBの範囲で調整します。従って、**[可変]**で設定できる最大出力レベルは、**[固定]**と同じ 6.0dB になります。
  そのため、**[可変]**を選択したときは、ほとんどの場合**[固定]**を選択したときよりも出力レベルが小さくなります。
- **[音声出力モード]**の設定(**P.65**)で**[2 チャンネル]**を選択しているとき、ディスクを再生しているとき、およびディスクテーブルが開いているときはテストトーンは出力されません。
- テストトーンをオートで出力しているときは、サブウーファー(SW)からは音が出ません。

設定した内容をすべて出荷時の状態に戻しますか？(初期化)

1. **本機を待機状態(スタンバイ状態)にする**
   電源が入っているときは、本体の⏻**STANDBY/ONボタン**(リモコンの⏻**電源ボタン**)を押します。

2. **■ボタンを押しながら、⏻STANDBY/ONボタンを押す**
   - 設定した内容がすべて**出荷時の状態**に戻ります。
   - 初期化が完了すると **P.8** の画面が表示されます。

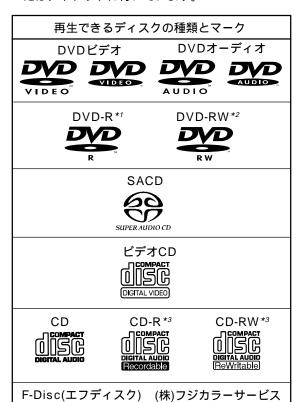
注意

初期化は記憶していたすべての設定を同時に消去します。初期化するときは十分にご注意ください。

読んでみてください！～基礎知識～

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク	
DVDビデオ	DVDオーディオ
DVD-R *1	DVD-RW *2
SACD	
ビデオCD	
CD / CD-R *3 / CD-RW *3	
F-Disc(エフディスク)	(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです。

本機で再生できないディスクの種類

- リージョンが**「2」「ALL」**以外のDVDビデオ
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- フォトCD
- CD-Gなど

*1 DVD-R ディスクの再生について

本機はDVDビデオフォーマット記録されたDVD-Rディスクを再生することができます。

*2 DVD-RW ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット、またはビデオレコーディングフォーマットで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RWディスクに録画することはできません。
- ファイナライズしていないDVD-RWディスクを再生することはできません。

※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVDビデオフォーマット記録、およびDVDビデオレコーディングフォーマット記録については**P.76**も合わせてご覧ください。

*3 CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、一部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3 の再生について

- ISO9660レベル2のCD-ROMファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)では、表示窓の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。

- マルチセッション(P.76)に対応しています。ただし、セッションをクローズしてください。
- フォルダー/トラックの名前を表示することができます(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラックの名前は[F_001]/[T_001]のように表示されることがあります。
- フォルダー/総トラック数はそれぞれ250まで対応しています。251以降のフォルダー/トラックを再生することはできません。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- 本機はファイナライズしていない音楽CDフォーマットのCD-R/CD-RWディスクに対応しています。ただし、一部の時間情報が表示されないことがあります。音楽CDフォーマット以外のファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。ノイズが発生することがあります。
- 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。
- ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RWディスクを再生することはできません。

DVDビデオ/DVD-RWのタイトルとチャプターについて

ディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています(DVDビデオにはメニューが収録されているディスクがあります。このメニューはタイトルに属しません)。
DVDビデオの映画ソフトなどでは、通常1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

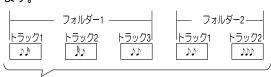
DVDオーディオのグループとトラックについて

ディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。DVDビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

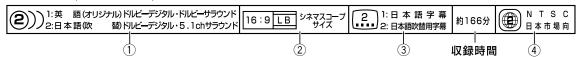
ビデオCD/SACD/CDのトラックについて

ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。

MP3について

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

DVD のディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例

①ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています（音声の切り換えは**P.12, 56**をご覧ください)。
上記の場合、テレビにつないでいるときには、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、アンプのデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は 5.1ch サラウンドで再生されます。

②再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9 の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されおり、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(**P.54**)。

③ディスクに記録されている**字幕の数**と**言語**などの種類を示しています(字幕の切り換えは**P.13, 56**をご覧ください)。
DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機(日本向け)の再生可能地域番号は 2 番で、ディスクに記載された地域番号が 2 番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVD ビデオでは、最大 9 つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いた DVD ビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(**P.28**)。

メモ

DVD ビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の 3 つが現在主流となっています。

ドルビー デジタルとは. .* DOLBY DIGITAL

DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている 5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトとは、5つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。本機をアンプなどと接続してこのソフトを再生すると、臨場感あふれるマルチチャンネル再生をお楽しみ頂くことができます。

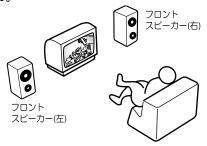
*DTS** とは..* DIGITAL dts SURROUND

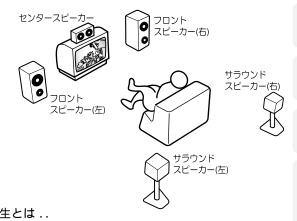
DTSとはデジタルシアターシステム(Digital Theater System)の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。本機をAVアンプなどと接続すると、DTSデジタル・サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトと同様に5.1chで音声を楽しむことができます。

リニアPCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録したDVDビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHzなどの表示があることもあります。

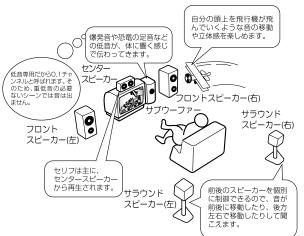
● **ステレオ再生とは..**

左右2つのスピーカーから別々の音声を再生することです。DVDビデオのステレオ音声や通常の音楽用CD(ステレオ2chで録音されています)は、5本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーからしか再生されません。

● **ドルビーサラウンド再生とは..**

ソフトのパッケージにドルビーサラウンド(DOLBY SURROUND)と表記されているソフトを、5本のスピーカーで再生することです。

● **ドルビーデジタル 5.1ch または DTS サラウンド再生とは..**

ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）またはDTSサラウンドで記録されているソフトを、5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。

** ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。*
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

***DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。*

使用上の注意

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに　本体の⏻**STANDBY/ONボタン**(またはリモコン の⏻**電源ボタン**)を押し、表示窓の**[-OFF-]**表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて１～２時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。

夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

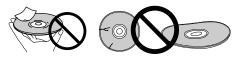
ディスクの取り扱いかた

保管

- かならずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書はかならずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみだしている恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

・ディスクを2枚重ねて再生しないでください。
・ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。

特殊な形のディスクについて
本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて
レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『**保証とアフターサービス**』(**P.84**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの結露について
冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

製品のお手入れについて
・本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5〜6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
・アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
・化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
・お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース(飛び越し走査)
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて1画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525iなど)表記してあります。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して1本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

コンポーネント映像出力
Y、C_B/P_B、C_R/P_Rの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル(dB)単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です(アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

読んでみてください！〜基礎知識〜

ビデオレコーディングフォーマット記録

映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。（*即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)

パイオニアのDVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、標準な画質で録画するモードと画質､および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って､簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高 / 標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)

映像の1画面を2回に分けずに1画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で､チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます｡本機の取扱説明書では、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525pなど)表記してあります。

ボーナスグループ

DVDオーディオでは、4桁の番号(キーナンバー)を入力することによってアクセス可能となる､「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります｡ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので､ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。また、前もって本機の初期設定画面でキーナンバーを設定しておくこともできます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので､画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます｡テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています｡すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDビデオには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。DVDビデオではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語

DVDビデオの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDビデオでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ､その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDビデオでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ､その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション

CD-RやCD-RWにデータを記録するとき､その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No. 2 ALL

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

D端子

デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y、CB/PB、CR/PR)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続する端子です。

DVDオーディオ / ビデオの静止画

DVDには、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります｡DVDオーディオの静止画には2種類あります。スライドショーは､ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。

ブラウザブル静止画は､プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます｡また､ブラウザブル静止画では､その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。

なお、DVDビデオの静止画はスライドショーのみです。

DVDビデオフォーマット記録

DVD VIDEO、またはDVD VIDEOマークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。

パイオニアのDVDレコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、高画質で録画するモードと、長時間で録画するモードがあります。

F-Disc（エフディスク）

8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。
お問い合わせ先：
(株)　フジカラーサービス　コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

GUI

Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

MP3

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1映像出力

S1とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)の識別信号の入ったS映像信号です。

S2映像出力

S1に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

SACD

CDの規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACDには1層ディスク、2層ディスクとハイブリッドディスクの3種類があります。ハイブリッドディスクは、SACDとCDの両方の構造を持ちあわせています。

3/2.1CH

3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表わしています。

例 **5.1CHの場合**

- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*1 チャンネル[1CH × 0.1*2 = 0.1CH]

***1:** 重低音強調効果の意
***2:** 音声全体に対して低音が占める割合

GUI画面には下記のように表示されます。

付録

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名, **入力コード, 国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

Q&A

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の⏻**STANDBY/ONボタン**、またはリモコンの⏻**電源ボタン**を押して、表示窓の[**-OFF-**]表示が消えてから抜いてください。特に他機器の AC アウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをおすすめします。	
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	■**ボタン**を押してから、もう一度再生してください。	
DTS 音声が出力されない。	• 本機と DTS 音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは[**DTS 出力**]を[**DTS>PCM**]に設定してください。ノイズが発生することがあります。音声出力端子にアンプを接続したときは入力をアナログに切り換えても音が出ます。	**53**
	• DTS 音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときはアンプの設定を確認してください。また、デジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	**45, 47**
音が歪んでしまう。 スピーカーから音が出ない。	• 音声ケーブルのプラグが十分差し込まれていますか？ • 接続している音声ケーブルが断線していませんか。 • 音声ケーブルのプラグや本機の音声出力端子、または接続したテレビやAVアンプなどの音声入力端子が汚れていたら拭いてください。	**7, 45-47**
	• デジタル接続しているときは[**デジタル出力**]を[**オン**]に設定してください。	**52**
	• [**デジタル音声出力**]の設定により、音が出ないことがあります。	**52-53**
	• ディスクが汚れていませんか？	
	• 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？	**12, 19-21, 39**
	• 接続したテレビやAVアンプなどの音量が最小になっていませんか？ AV アンプに接続したときは入力切換、およびスピーカーの設定を確認してください。 • アンプの PHONO 端子には接続しないでください。	

映像が映らない。	• 映像ケーブルのプラグが十分差し込まれていますか? • 接続している映像ケーブルが断線していませんか。 • AVアンプなどに映像出力端子を接続したときは、AVアンプの入力を接続している機器に設定してください(例えばDVDなど)。	7, 45-46, 48
画面が縦または横に伸びている。	• 接続したテレビに合わせて[**テレビ画面**]の設定をしてください。 • 本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、テレビ側の信号処理により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは[**S映像出力**]を[**S1**]に設定してください。	54 55
DVDとCDで音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
DVD再生中に画像が乱れる、または暗い。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、テレビによっては画像の一部に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクをVTRを通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	7
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
テレビなどが誤動作する。	ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
DVDオーディオを再生すると途中で停止してしまう。	違法に複製されたディスクの可能性があります。	
スピーカーからマルチチャンネル音声が出力されない。	• [**音声出力モード**]の設定で[**5.1チャンネル**]を選択してください。 • [**スピーカー設置**]の設定を行ってください。 • ディスクのメニュー、またはリモコンの**音声ボタン**でディスクの音声をマルチチャンネルに切り換えてください。	65 66 10, 12

デジタル音声が出力できない。	• **[デジタル音声出力]**の設定で**[オン]**を選択してください。 • DVDオーディオにはデジタル音声を出力できないディスクがあります。 • SACDではデジタル音声を出力できません。アナログ音声出力端子(5.1ch、または 2ch)の接続をしてください。	52 46-47
マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。	DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません(ドルビーデジタル、または DTS 音声はデジタル出力できます)。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、アナログ音声出力端子(5.1ch)の接続をしてください。	46
192/176.4kHz 音声がデジタル出力できない。	DVD オーディオの 192/176.4kHz 音声はデジタル出力できません。96/88.2kHz、または 48/44.1kHz に変換して出力されます。また、ディスクによってはデジタル出力できないことがあります。	
96/88.2kHz 音声でデジタル出力できない。	• **[リニアPCM出力]**の設定で**[ダウンサンプルオン]**が選択されていないか確認してください。 • 著作権保護がされているディスクでは96/88.2kHz音声のデジタル出力が禁止されています。	53

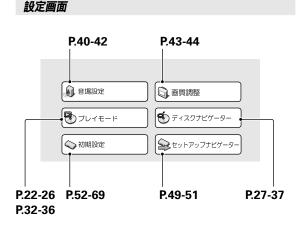
静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

GUI 一覧

設定画面

音場設定

画質調整

詳細設定・・・・・P.43-44

本機では、画面表示にＮＥＣのフォント「Font Avenue」を使用しています。Font AvenueはNEC の登録商標です。

索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

わ行

アルファベット

数字

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談
お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき
P.79-81 に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容
- ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」
- お名前
- お電話番号
- 製品名　DVD プレーヤー
- 型番　DV-S757A
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容　「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物・公園など)

保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

項目	仕様
形式	DVDプレーヤー
電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	13 W 0.25W（待機時）
本体質量	4.0 kg
外形寸法	420（幅）×278（奥行）×95（高さ）mm （突起部含む）
許容動作温度	＋5℃〜＋35℃
許容動作湿度	5%〜85%（結露のないこと）

S1/S2映像出力(2系統)

項目	仕様
Y出力レベル	1 Vp-p（75Ω）
C出力レベル	286 mVp-p（75Ω）
出力端子	S端子

映像出力(2系統)

項目	仕様
出力レベル	1 Vp-p（75Ω）
出力端子	RCA端子

コンポーネント映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）

項目	仕様
Y出力レベル	1 Vp-p（75Ω）
CB/PB、CR/PR出力レベル	0.7 Vp-p（75Ω）
出力端子	RCA端子

D1映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）

項目	仕様
Y出力レベル	1 Vp-p（75Ω）
CB/PB、CR/PR出力レベル	0.7 Vp-p（75Ω）
出力端子	D端子

音声出力(2ch)

項目	仕様
音声出力レベル	200 mVrms（1kHz、－20dB）
出力端子	RCA端子ステレオ2系統
周波数特性	4 Hz〜44 kHz(DVD、96 kHz)
S/N比	118 dB
ダイナミックレンジ	108 dB
全高調波歪率	0.0009 %
ワウ・フラッター	測定限界以下 （±0.001%W.PEAK）（EIAJ）

音声出力(マルチチャンネル：フロント L/R、サラウンド L/R、センター、サブウーファー)

項目	仕様
音声出力レベル	200 mVrms（1kHz、－20dB）
出力端子	RCA端子

デジタル音声出力

項目	仕様
光デジタル出力	光デジタル端子
同軸デジタル出力	RCA端子

その他の端子

項目	仕様
コントロール入力/出力	ミニジャック(3.5 φ)

付属品

品名	数量
音声ケーブル	1
映像ケーブル	1
電源コード	1
リモコン	1
単3形乾電池（R6P）	2
取扱説明書、保証書	各1
安全上のご注意	1

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

付録

修理のご相談 / 修理についてのお問い合わせ窓口

パイオニア製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理についてはお買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合は、窓口(裏表紙)へご相談くださるようお願いいたします。

サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、修理受付センター(裏表紙)でお受けします。
(沖縄県の方は沖縄サービスステーション(裏表紙)でお受けします)

●北海道地区		受付 月～金 9：30～18：00 (土・日・祝・弊社休日は除く)	
札幌サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北２条西 20-1-3 クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町１条１丁目 438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西５条南 28 丁目 1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町 2-18-7

●東北地区		受付 月～金 9：30～18：00 (土・日・祝・弊社休日は除く)	
仙台サービスステーション	FAX 022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈石田 20
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波 1-8-17
盛岡サービスステーション	FAX 019-659-3165	〒020-0051	盛岡市下太田下川原 153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田 2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野 4-3-34
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目 346-1
郡山サービスステーション	FAX 024-939-1372	〒963-8861	郡山市鶴見坦 1-9-25 クレールアヴェニュー伊藤第２ビル

●関東・甲信越地区		受付 月～土 9：30～18：00 (日・祝・弊社休日は除く)	
世田谷サービスステーション	FAX 03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢 4-25-9
墨田サービスステーション	FAX 03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原 4-27-9 中島 IC ハイツ 1F
城北サービスステーション	FAX 03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸 4-11-14
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町 4-18-1 エクセル立川１F
高崎サービスステーション	FAX 027-322-8978	〒370-0851	高崎市上中居町 45-2
足利サービス認定店	FAX 0284-42-4376	〒326-0058	足利市元学町 831
新潟サービスステーション	FAX 025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙 1-5-23
佐渡サービス指定店 横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡郡金井町千種 1158-1
千葉サービスセンター	FAX 043-207-2555	〒263-0015	千葉市稲毛区作草部 1369-1 椎の実ハイツ 1F
つくばサービス認定店	FAX 0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園 2-2-6
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町 307-4
埼玉サービスセンター	FAX 048-651-8030	〒330-0038	さいたま市宮原町 1-310-1
川越サービス認定店	FAX 049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷 1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町 3373-1
神奈川サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1 ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX 045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南 1-19-17
厚木サービス認定店	FAX 046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田 339-1 金田コーポフロンテア 201
三宅島サービス指定店 勝見電機	TEL 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービスステーション	FAX 026-326-3122	〒390-0842	松本市征矢野 2-8-7
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所 1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田 4-9-14

●中部地区		受付 月～金 9：30～18：00 (土・日・祝・弊社休日は除く)	
名古屋サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切 2-8-18
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水 522-5
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1 大和ビレッジ B-1
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東 1-1-3
静岡サービスステーション	FAX 054-237-5691	〒422-8034	静岡市高松 1-6-5
沼津サービス認定店	FAX 0559-21-9050	〒410-0058	沼津市沼北町 1-14-26
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町 415 ビラモデルナ５号
金沢サービスステーション	FAX 076-291-6425	〒921-8005	金沢市間明町 1-130
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町 1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺 3-5-9

●関西地区 受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）

大阪サービスセンター	FAX	06-6353-1145	〒530-0035 大阪市北区同心 2-1-26
大阪南サービス認定店	FAX	0722-75-2625	〒593-8322 堺市津久野町 1-8-15　ローズマンション 1F
大阪北サービス認定店	FAX	06-6453-5666	〒531-0076 大阪市北区大淀中 3-9-4
奈良サービス認定店	FAX	0742-36-8713	〒630-8132 奈良市大森西町 21-26
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0021 和歌山市和歌浦東 3-1-25
京滋サービスステーション	FAX	075-682-7176	〒601-8448 京都市南区西九条豊田町 24-1
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055 福知山市篠尾新町 2-74　カマハチマンション
神戸サービスステーション	FAX	078-251-7173	〒651-0086 神戸市中央区磯上通り 5-1-13
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0251 姫路市花田町上原田 30-4

●中国地区 受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）

広島サービスステーション	FAX	082-227-4866	〒730-0013 広島市中区八丁堀 2-31　鴻池ビル
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006 徳山市花畠町 3-11　森広事務所 1F
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815 福山市野上町 3-12-9
岡山サービスステーション	FAX	086-276-1927	〒703-8282 岡山市平井 3-1078-6
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017 松江市西津田 4-5-40　(有）テクピット内
鳥取サービス認定店	FAX	0857-29-1290	〒680-0061 鳥取市立川町 5-240-1

●四国地区 受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）

高松サービスステーション	FAX	087-861-4841	〒760-0014 高松市昭和町 1-3-33　大商ビル
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023 徳島市勝占町中須 92-1　大松ジョリカＢ 103 号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051 高知市愛宕町 3-12-13　晃栄ビル１Ｆ
松山サービス認定店	FAX	089-951-6270	〒791-8067 松山市古三津 5-10-35　商船ビル１Ｆ

●九州地区 受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）

福岡サービスステーション	FAX	092-412-7460	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-12-3
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006 福岡市博多区上牟田 2-6-7
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145 長崎市昭和１丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒862-0918 熊本市花立５丁目 14-17
大分サービス認定店	FAX	097-549-2420	〒870-0889 大分市大石町５丁目 1-1
北九州サービスステーション	FAX	093-951-1748	〒802-0011 北九州市小倉北区重住 3-1-20
鹿児島サービスステーション	FAX	099-224-7692	〒892-0841 鹿児島市照国町 3-21　第二大見ビル２Ｆ
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3132	〒880-0821 宮崎市浮城町 98-1

●沖縄地区 受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）

沖縄サービスステーション	TEL	098-879-1910	〒901-2122 浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター3Ｆ
	FAX	098-879-1352	

修理窓口・ご相談窓口の名称・所在地・電話番号は変更することがございますのでご了承ください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?
- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00 （日曜・祝日・弊社休日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口 ： **0070-800-8181-22**

カタログのご請求窓口 ： **0077-800-8181-33**

ファックス ： **03-3490-5718**

＜ご注意＞
フリーフォンは、ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00 （日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイアル） ： **0120-5-81095**
一般電話 ： **0538-43-1161**
ファックス（フリーダイアル）： **0120-5-81096**

＜ご注意＞
フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」または「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00 （日曜・祝日・弊社休日は除く）

ゴー パイオニア
電話（フリーダイアル） ： **0120-5-81028**
一般電話 ： **03-5496-2023**
ファックス（フリーダイアル）： **0120-5-81029**

＜ご注意＞
フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00 （土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話 ： **098-879-1910**
ファックス ： **098-879-1352**

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TWKZW/02F00001>　<VRA1215-A>